

「済生会交差点」  
がん患者を総合支援  
子育てに安心なまちづくり

# 済生

SAISEI

THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1112

2

February 2022

社会福祉法人

恩賜財団 済生会

<https://www.saiseikai.or.jp>



くになると二ホンザルは体を寄せ合って団子状態になる。香川県小豆島や大分県高崎山など野猿公園の群れの団子が、風物詩としてよくカメラの被写体になる。

群れが固まって寒さをしのぐ姿は南極の皇帝ペンギン有名だ。ハドルという内向きの円陣を組んでマイナス40度の猛吹雪をやり過ごす。アメリカンフットボールで攻撃側が組む円陣の作戦会議も同じハドル。猿団子も英訳するとそうなるのだろうが、日本語の「おしゃくらまんじゅう」。どちらも和菓子が持つ季節感をまとめて、風情がある。

## 寒

火を手に入れたヒトと二ホンザル双方の祖先が枝分かれしたのが2400万年も前。ヒトはさらにチンパンジー・ゴリラなど類人猿から分かれ、700万年前、アフリカで誕生した。20万年前に出現した我々ホモ・サピエンスは、その後長大な旅に出で、地球全体に分布を広げ、

サルの仲間の靈長類は、ヒトを除けば暑い地方の生き物だ。なのに二ホンザルは、青森県下北半島に「北限のサル」がいて、長野県地獄谷では頭に雪をかぶつて温泉につかっている。ただ、寒さ対策には苦労したようだ、オナガザルの仲間なのに尻尾がほとんどない。凍傷予防で退化したのだ。サル団子を、そんなひいき目で見ると、たき火でもしてあげたくなる。

## 2月のたよりが聞こえる

### サル団子

の声も出る始末。天然記念物として保護したり、餌付けして増やしたり、

邪魔者扱いしたり、ほんにヒトはご

都合主義な生き物だ。

(Y)

火を手に入れたヒトと二ホンザル

双方の祖先が枝分かれしたのが24

00万年も前。ヒトはさらにチンパン

ジー・ゴリラなど類人猿から分か



# ニセイ 生

SAISEI

FEBRUARY, 2022

06

## CONTENTS

### NEWSな済生人

特養は穏やかに人生の最期を迎えることができる場所

〈長野〉シルバーランドきしの嘱託医  
(佐久市立国保浅間総合病院 麻酔科)

佐久市特別養護老人ホーム  
シルバーランドきしの施設長  
仲井淳さん + 篠原秀則さん

10

がん患者を総合支援》がん患者の生活も治療も、幅広い専門家チームが丸ごとサポート／《子育てに安心なまちづくり》江津市とのタッグで手厚い支援。母親と子どもの笑顔を守る／《障害者支援施設の看取り》「最期までここで」の希望を支える。病院など社会資源とも連携

10

ソーシャルインクルージョン  
済生会が社会福祉法人で初受賞 ジャパンSDGsアワードで内閣官房長官賞 他

他

## 済生会交差点

### 特別インタビュー

福岡総合病院 名誉院長  
厚生労働大臣 表彰  
自院も法人も国も施設も改革。よりよい医療の実現を目指して  
岡留健一郎さん 16

がんばろう! 済生会 〈山口〉貴船福祉ケアセンター 28

卷頭コラム 済生会の不易流行論  
ウイズ・ポストコロナの社会経済活動 理事長 炭谷茂 03

2月のたよりが聞こえる——サル団子  
表紙のことば 久保田真由美 05

特製カレンダープレゼント 20

なでしこナースのストーリー 15

この人 ウオーリー木下 30

口福にっぽん 吉井省一 32

だれでもかんたん てづくりおもちゃ いまいみさ 34

TOPICS 36

載々、大雑報 67

題字協力: 石飛博光  
アートディレクション: OVO INTERNATIONAL

表紙のことば  
北国の猿はいとおしい  
表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

人と近づかない習慣が2年になります。猿団子を見て体温などを想像する以上に温かい気持ちになるのは私だけでしょうか。子供の遊びに「おしゃくらまんじゅう」がありました。私も遊んだことがあり記憶ではちょっと痛かったように覚えています。動かない猿の団子と動く人のお饅頭。より暖かくなるのはお饅頭の勝ち。と考えますが、猿から見た人って野蛮ということになるかもしれません。



## 特養で看取るには、本人・家族・職員が共通の思いにたどり着く過程が重要



佐久市特別養護老人ホーム  
シルバーランドきしの 施設長  
**篠原秀則さん**

シルバーランドきしの正面玄関で。左は聞き手の山浦さん



〈長野〉シルバーランドきしの 嘱託医  
(佐久市立国保浅間総合病院 麻酔科)  
**仲井淳さん**

## NEWSな済生人 Interview

日本は国民の70%が病院・診療所で亡くなっています。(厚労省・人口動態統計)。一方で、シルバーランドきしのでは、入居者の90%が家族や職員に見守られ施設で最期を迎えるのです。入居者本人とその家族が望む暮らしをどのように支えているのか。施設開所時からの嘱託医・仲井淳さんと一緒に三脚で看取り介護に取り組んでいる当施設を取り材しました。(シルバーランドきしの 済生記者 山浦裕子)

改めて伺います。シルバーランドきしのでは、どのような看取りをしているのですか?

できるだけ延命治療に頼らず、入居者さん自身の意思を尊重した関わりを心がけています。看取りが近づいたら特別な介護を行なうのではなく、普段のケアを継続しながら終末期の状態や状況に合わせたケアをします。これまでどおりの生活を送れるよう、最期まで支えます。

日常の延長で看取るための工夫は?

入居者さんが人生の終末期をどう迎えたいのか、そのためには私たちには?



開所当初から14年間、変わらない仲井先生の回診

病院で麻酔科医として勤務しています。  
山浦 看取りまでの流れはどのようなものですか?  
篠原 入居時に生活相談員がご家族に、急変時や終末期の対応に関する意向を確認します。

仲井 そして入居後は、「食事量が減つてます。」「反応が鈍くなってきた」など看護師などから寄せられる情報から、看取りができます。あらかじめ希望がわかつてるので、

篠原 多くのご家族は、穏やかな最期を望み、大半が無理な延命治療は希望しません。「治る病気なら治してほしい」とは言われますが、「どんな時でも病院で全ての治療を受けたい」というケースは少数です。こうした意向を、入居者さんがまだ元気なうちにすり合わせます。

山浦 その本音に対し、仲井先生はどう応えるのですか?

仲井 私の経験から「次第に弱って、施設で亡くなるのは決して苦しいことではない」と自信をもってお伝えします。そして「だんだん食べられなくなるのは体が終わる準備をしているから」「無理な延命治療はご本人にとって苦しいかもしれない」——などと話していきます。すると次第に、ご家族と私たちとは「入居者さんに穏やかな最期を迎えてほしい」という共通の思いにたどり着くのです。

山浦 看取りの瞬間は家族ですか?

篠原 当施設は全室個室のですが、コロナ禍のいまは、立ち合いは一人だけとお願いしています。以前のように家族みんなでお見送りできるようになつてほしいです。

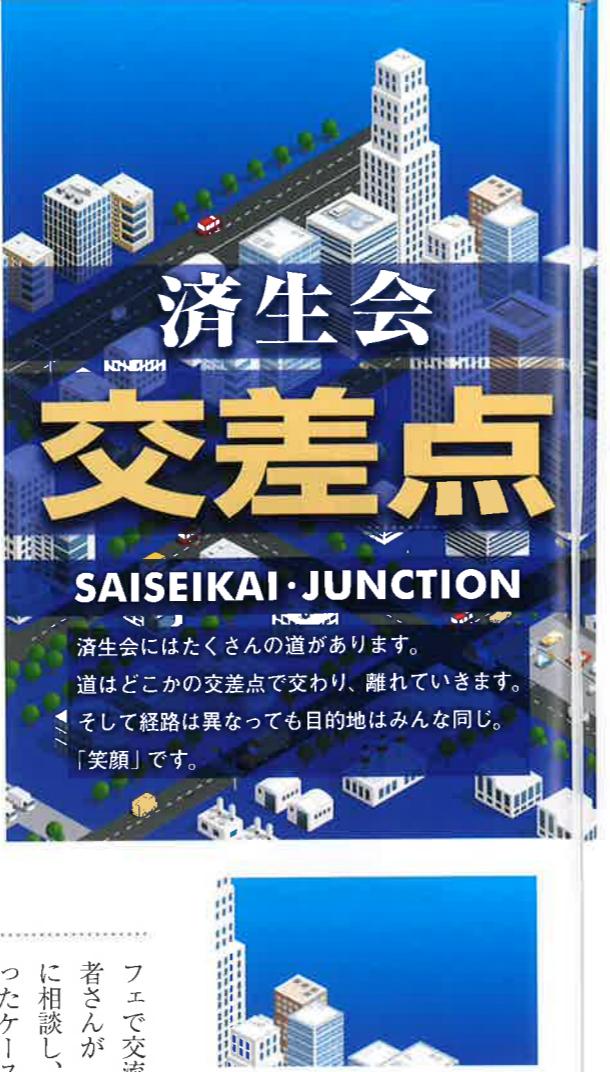
山浦 面談した後も「急変時は入院治療」と希望するケースへの対応は?

仲井 もちろん本人・家族の意向を尊重します。あらかじめ希望がわかつてるので、





同年には、これまでの実践が評価され、がんの治療と就労の両立支援について優れた活動を行なう企業や医療機関を表彰する「架け橋大賞」(医療と職場の架け橋Bridge between Clinic & Company主催)の「最優秀賞」を受賞しました。その後も18年度、19年度の2年連続で、厚労省の「がん患者の仕事と治療の両立支援モデル事業」に指定されました。お役立ちノート」を活用し、最初に外来を受診したときから、がん専門相談員が支援を開始。がん



福井県済生会病院ではこれら

の実践を軸にして、「仕事を辞めなくてよい人が辞めずに続けられる」「どのような決断をしても自己肯定できる」地域づくりを目指しています。連携先医療機関や企業との結びつきをさらに強め、社会全体でがん患者さんをサポートする仕組みを作つてまいります。

3. お金のこと、家族のことについて立ち止まって考えてみましょう	
1) お金に関わること	
外出費	出ていくお金
	●病院での治療にかかるお金
	●健康保険適用になるもの
	●健康保険適用にならないもの
	●病院の治療費以外で、家族が病院に付き添うお金
	●かかるお金
介護や養育が必要なご家族がいる場合	出していくお金
	●介護費
	●教育費
	●その他の費用
	●介護費
その他	出していくお金
	●入ってくるお金
	●給与(休憩した場合に見込まれる収入)
	●家族の収入
入ってくるお金の小計	金額
	●生命保険還付金
	●預貯金
	●その他
収支(入ってくるお金の小計) - (出していくお金の小計)	金額
	●収支(入ってくるお金の小計) - (出していくお金の小計)
	●その他にかかるお金

**■がん相談支援センターを活用してください**

がん相談支援センターでは、がんの病気や治療、療養生活についての情報探しのお手伝いや相談にお応えしています。また、心のケアや生活に役立つ制度の紹介、家族への支援も行っています。療養生活にまつわる様々な質問を、主治医に確認する必要はありません。病院の中のがん相談支援センター、外年に開設している看護師・薬剤師なども、上手に活用して正しい情報を得てください。正しい情報はあなたの「力」となるはずです。

10 「仕事とがん治療の両立お役立ちノート」

### がん専門相談員からのワンポイントアドバイス

病気になると、健康保険で自己負担が軽減される「直接治療にかかるお金」と、健康保険の対象にならない「その他にかかるお金」、両方の費用負担が生じます。ただし、「その他にかかるお金」を軽減できないと認めないでください。本人または家族が1年間に10万円を超える医療費を支払った場合に、確定申告をすれば、税金が戻る制度(医療費控除)がありますが、そこでは、公共交通機関を利用した場合の交通費や入院時の部屋代・食事代等の費用も控除の対象となります。まずは治療に専念して負担した諸経費について、領収書を保管しておくこと、領収書が発行されないものは療養日記などに記録しておくことをお勧めします。



## がん患者の生活も治療も幅広い専門家チームが丸ごとサポート

**ハローワークが出張相談**

役割の一つに、13年10月に始めたがん患者さんの就労支援があります。2人のがん専門相談員が就労に関する相談に対応。必要に応じて、社会保険労務士資格を持つ当院人事課職員も参加します。

さらに、ハローワーク福井の就労支援ナビゲーターによる出張相談会を院内で月2回開催しています。当院が独自作成した

年には「集学的のがん診療センター」と名称を改めて、がんの診療体制を強化しています。患者さんを手厚く支援するため、専門領域の異なる医師・薬剤師・看護師・臨床心理士・MSWなど多職種のチームが所属。治療と社会的・心理的サポートの両輪で、不安や悩みを解消します。よりよいがん診療のためには、生活面も含めた徹底的な患者サポートが不可欠。同センターはそのための総合窓口です。



### 治療前からの支援が大事

これらの先進的な取り組みが認められ、厚生労働省から14年4月、がん就労支援モデル事業に指定されました。

就労相談票を活用。患者さんの治療状況や就労時期の希望などの情報をハローワークと共有し、患者さんが望む支援を協働で提供しています。

がん患者を  
総合支援  
**福井県済生会病院**  
副院長・  
集学的のがん診療センター長  
**宗本義則**

江津市は年間のお産が1

00件ほどあり、その8割

を担当する当院は、市とタ

ッグを組んで子育て支援に

力を入れています。若年層

の都市部流出などにより、

子育て中の母親は周囲に頼

れる人や相談相手がないな

つたり、共働きなどで育児

がワンオペになつたりして鬱状

態に陥る——そうした課題解決

を目指した活動です。

2015年、助産師による子

育て相談外来を立ち上げ、19年

には江津市子育て支援課の提案

で地域母子連絡会議を設立。毎

月の連絡会議で、江津市（保健

師・助産師）と当院（産婦人科

医師・助産師）が妊娠婦の情報

育児困難者への乳腺炎重症化予



## 江津市とのタッグで手厚い支援 母親と子どもの笑顔を守る



### 障害者支援施設の看取り

〈山口〉  
障害者支援施設  
なでしこ園  
主任介護士  
田中美穂(当時)

なでしこ園は、入所する障害者さんに入浴・排泄・食事などの介護や生活相談のほか、自立訓練や就労移行などの日常生活支援を行なう障害者支援施設です。2003年の開所時から、常時身体介助が必要な障害支援区分5～6の重度者がほとんどで、近年は高齢化が進み疾患も多様化。看取りにも対応する必要に迫られ「最期までここで暮らしたい」との入所者さんの希望

## 「最期までここで」の希望を支える 病院など社会資源とも連携

高齢で軽度の認知症もあり、本人と

は疎遠で対応困難でした。

こうした中で「当園で本当に看取ることができるのか？」介護職を中心の施設で末期がんのケアができるのか？」を、介護・看護・相談員など多職種で何度も話し合いました。

まず介護主任がAさんに付き添い、緩和ケアを担う近隣のB総合病院緩和ケア外来を受診。なでしこ園で生活を

いました。

### 安心を支え続ける

望をかなえる実践も行なっています。

### 入院後も

全盲で、15年12月に膀胱がんがみつかり肝臓にも転移、手術不可能との診断。「入院は嫌。園で生活を続けたい」と強く希望し、緩和ケアを選択しました。唯一の身元引受け人の叔母は



一緒にチェックしてほしい」「入院中はあまり泣かなかつたのに、よく夜泣きするんです」——私たちは、子育て相談外来に持ち込まれる妊娠婦のどんな悩みにも寄り添い・支えることで不安を解消しています。

子育て相談外来は、同時期に出産した母親同士が再会する場にもなつていて、楽しく談笑する姿がよく見られます。以前は1ヵ月健診までの間、一人で頑張るしかなかつたお母さんたち

の心の拋り所にもなつていて、もうれしいです。これからも江津市と共に、この地域で子育てをす るお母さんと子どもの安心と笑顔を守り続けます。



第72回済生会学会で「行政とともに取り組む産後ケア事業」を発表する筆者

を共有しています。妊娠中に細かな経過観察を要したり、前回妊娠時に問題行動があつたりした妊婦や、発育不良児などを持つ母親を、入院前から退院後までしっかりと支える体制です。

### 孤立も悩みの長期化も防ぐ

当院の具体的な支援メニューは①産後の電話訪問（無料）②退院後1週間目の子育て相談外来（無料）③1ヵ月健診④母乳育児困難者への乳腺炎重症化予

防ケア⑤産後2週間健診（江津市の委託事業）を、順次充実させてきました。支援を要する母親でも、従前の来院頻度は多くても②③の2度でしたが、いまは平均4～5回は利用いただけます。以前は、母親が抱える問題にフィードバックし、保健師が適宜、家庭訪問・電話訪問します。以前は、母親が抱える問題

が、その後の母子の様子も連絡会議で情報を共有。母親と子どもを孤立させないように、悩みを長引かせないよう、電話してでも困ったときは助産師が相談に応じています。

### どんな悩みも話して

「最近体重が増えたんです。外

来受診のたび、助産師さんに一



地域母子連絡会議のメンバー。前列の両端が江津市の保健師、中央が江津総合病院産婦人科医。後列の3人が江津総合病院の助産師



悩みや不安を持つお母さんに笑顔で声かけ

を明らかにす

る「エジンバラ産後鬱問診票」9点以上

の高値で保健

師に紹介する

ケースもあり

ましたが、情

報共有・連携

の仕組みを整

えた現在は、そ

うした事例はほとんどあ

りません。

1ヵ月健診後は、支援をスムーズに保健師へ引き継

ります。

1ヵ月健診

は、「エジンバラ産後鬱問診

票」9点以上

の高値で保健

師に紹介する

ケースもあり

ましたが、情

報共有・連携

の仕組みを整

えた現在は、そ

うした事例はほとんどあ

りません。

1ヵ月健診後は、支援をスムーズに保健師へ引き継

ります。

1ヵ月健診

は、「エジンバラ産後鬱問診

票」9点以上

の高値で保健

師に紹介する

ケースもあり

ましたが、情

報共有・連携

の仕組みを整

えた現在は、そ

うした事例はほとんどあ

りません。

1ヵ月健診後は、支援をスムーズに保健師へ引き継

ります。

1ヵ月健診

は、「エジンバラ産後鬱問診

票」9点以上

の高値で保健

# なでしこナースの ストーリー



## #120 手術ベッド

手術室に配属されて2年目、翌日に盲腸の手術が予定されている患者さんの病室を訪問した。患者さんは「わざわざ大変ですね」と、私に声を掛けてくれた。過去に、全身麻酔の手術を経験しており、「手術して早く元気になりたい」とも話していた。

手術直前、「昨日はありがとうございました。不安もなく手術に臨める」と笑顔だったが、手術を終え、意識が回復すると、「こんなに寒い思いをするなんて聞いていなかつた。手術しなければよかつた……」と訴えたその顔を今でも忘れない。

低体温による麻酔からの覚醒遅延、身震いによる低酸素状態、寒さによる不快など、知識はあっても、言葉として分かづけているだけで患者さんにつらい思いをさせてしまった。

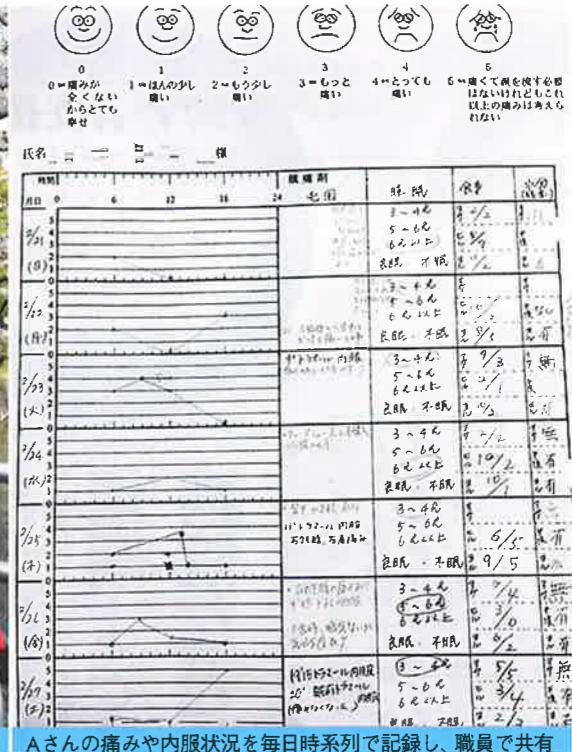
この出来事を通して、私は根拠を持つて、患者さんを中心に考え行動するように心掛けている。手術前には低体温予防のため、欠かさずにベッドを温めている。

写真と筆者は異なります

投稿募集：ご自分のことやまわりで見かけた、「ナースのちょっといい話」を募集しています。笑える話も大歓迎。原則として500字以内。匿名（謝礼送付の関係から応募は実名）で、法人ホームページにも転載されることがあります。広報室ナース係へ（メール：koho@saiseikai.or.jp）。



お花見で知人と久しぶりの再会を楽しむAさん



Aさんの痛みや内服状況を毎日時系列で記録し、職員で共有

その中で、食事量が低下していたAさんの体調管理のため、なでしこ園で1日1回点滴を実施。必要に応じB病院の看護師

に付き添つてもらいま懸念してい

た医療用麻薬の取り扱いも、B病

院の主治医

に助言いた

だき、スタ

ツフステー

ション内の

鍵付き引き出しに保管

し残薬管理

表で管理。



季節ごとに、利用者さんが楽しめるイベントを開催



夏祭りでは、ヨーヨー釣りを楽しむ入所者も

員2人以上のダブルチェックと記録を徹底しました。Aさんが亡くなったときの手続きも、本人の意思を尊重できる対応を相談員中心に検討。成年後見制度の推進機関である権利擁護センターCを利用して死後事務委任契約を結び、本人の意思が尊重されるよう公正証書遺言を作成しました。

こうした準備・対応で、Aさんが希望した当園での暮らしを支援。がんが進行し、翌年3月末のB病院緩和ケア病棟に入院した後も、Aさんが不安になら

ないよう、買い物や洗濯などは私たちで行ないました。4月には外出許可が出たため、Aさんの友人や入所者さん、職員と30人ほどで、近隣の維新百年記念公園へお花見でおでかけ。翌5月、病院・施設の職員が見守る中で永眠されました。

### 緩和ケアに入つてよかつた

「園でずっと生活したい」の希望は最期まで支えきれませんでしたが、Aさんから「緩和ケアに入ったが、Aさんから「緩和ケアに入つてよかつた。だって、なでしこ園の職員がいつもそばに

いてくれるから、今までと変わらないじゃない」と言っていた。ただ胸をなでおろしました。医療依存度の高い入所者ニーズは増加傾向で、現状の体制で十分に対応するのは困難になっています。地域の医療資源とさらなる連携を進め、済生会の強み「保健・医療・福祉を一体化して提供できる仕組み」を活性化し、すべての入所者さん・ご家族に「なでしこ園で生活できただけ胸をなでおろしました。支援を提供していきます。



[上]〈福岡〉天神の中心で救命救急センター、がん拠点病院などの体制を整える福岡総合病院 [下] カンファレンスで職員を前にレクチャー。どんなときでも対話を大事にしてきた



識者に「医師は労働者なのか」「それはどこで規定されているのか」と尋ねると、「高等裁判所の判例では労働者とされている」と回答。全く納得できなかつたのですが、反論もできず気まずい思いをしました。

**富永 岡留** 医師の働き方改革は大きな課題です。私が若いころは「頑張る人が成長する」という風潮でした。専門の外科では、夕方に若手医師が席を立つと、「もう帰るのか」と上司に怒られた。それは「もっと努力しないとステップアップできないぞ」と

いう一種の思いやりですが、それが医師の

労務管理を難しくしてしまいました。

**富永 岡留** 現状はどうですか。

労働時間の定義が明確化され、よい

方向に向かいつつあります。今後は、働き

方を変えた医療現場で収益が確保できる手

当てが診療報酬でなされるかが課題です。

**富永 岡留** 働き方改革に必要な視点は?

病院全体で働き方を変えるという意

識です。医師だけを変えて他職種に悪影響が及びます。私は常々「病院全体の効率

化を進めないと、働き方改革は挫折する」と講演などで強調しています。

### 客観指標で医師を評価

**木下 岡留** 福岡総合病院も大胆に改革しました。

**木下 岡留** 九州大学から1993年に副院長と

して着任、98年からは院長を19年間務めま

した。当初から、院内の非効率が目につき、

ぬるま湯に浸かっているような医師の診療

姿勢が気になりました。そこで、医師の「あり様」を変えました。

**木下 岡留** 医師の「あり様」ですか?

**木下 岡留** 最初に医師の評価システムを導入し

ました。バランススコアカードをベースに

した「パフォーマンスレビュー」の手法を

独自に開発。縦軸に診療実績を、横軸に周

囲の多職種による評価を点数化したグラフ

で、病院に対する医師の貢献度を客観的に

測ります。

**木下 岡留** 主觀によらないわけですね。

**木下 岡留** 医師の人事考課は長年、聖域扱いさ

れてきました。特に地方では「そんなこ

とをしたら医師が逃げ出す」と思われてい

た。しかし、客観的で透明な評価システム

は、誰も文句を言わないと私は確信してい

ましたし、評価される側も新たな目標が生

まれ好循環だと思います。

**木下 岡留** なるほど、たしかにそうです。

2年をかけ周囲と相談して準備、3年目に実施に移すと、各医師の貢献度と課題が見えてきました。評価結果は個別に對面で説明、何が足りないのか、どこに改善



## 福岡総合病院・岡留健一郎名誉院長が厚生労働大臣表彰

自院も法人も国の施策も改革  
よりよい医療の実現を目指して



※写真撮影時のみマスクを外しています

く役割を果たしています。改めて、これまでの取り組みを振り返っていただきました。(福岡総合病院)

経営企画課 富永朋美・木下昌子)

富永 医療事業労働者表彰、おめでとうございます。長年にわたる病院事業への発展

が国から評価されたものですが、特に大変

だったことはなんですか?

岡留 厚労省関連では、多い時で12の検討会に入っていました。特に印象深いのは、「医師の働き方改革に関する検討会」です。



## SAISEI 特別インタビュー

**岡留** 濟生会は社会福祉法人です。高度急

点があるのかを話しました。導入から、8年後の2005年ごろから成果が表れ、20%程度だった紹介率が80%を超えるました。

**木下** 当院の特性が認知されたのですね。

連携室の役割も大きかった。年に数回、地域の医療機関を招き意見交換会を実施。当院の機能や特徴を知つてもらう機会として重要でした。

**木下** 成果を生む改革の「ツはなんですか。

**岡留** 組織改革には「226の法則」があります。トップが方針を打ち出したとき、すぐ賛同するのは2割、反対が2割、様子を見る人が6割です。スタートして改革の

明示されて全体がまとまったのですね。  
**岡留** 目の前に問題の芽が見えている、温情主義あるいは事なき主義で、誰もそれを摘み取ろうとしない。そこを変えなければならぬという必死の思いでした。  
**富永** 改革の根底には「患者さんのために」という、患者目線の考え方見えます。

**岡留** そうです。病院は悠然と構えて患者さんを待っているだけではダメなんです。

どうすれば、患者さんに来てもらえるのか——その第一歩として、医師に意識変革を求めました。回診のときも立つたまま見下ろして話すのでなく、ベッドサイドの椅子に腰かけ、患者さんと同じ目線で対話するよう指導しています。

**木下** 革新的な施策のアイデアはどこから出てくるのですか。

**岡留** 当院に着任する直前、シカゴ大学の外科に留学しました。そのとき、経営学者のピーター・ドラッカーの本を読み漁り、マネジメントや組織論を学びました。ボストンのマサチューセッツ総合病院を一週間ほど視察できたのも大きな刺激でした。福岡市など真ん中にある当院とよく似た立地の都市型の急性期病院で、一般診療と救急医療を両立させていました。私は「こういふ病院を作りたい」と目標が明確になりました。

**富永** そのときの経験が生かされているのです。

**岡留** 濟生会は社会福祉法人です。高度急

点があるのかを話しました。導入から、8年後の2005年ごろから成果が表れ、20%程度だった紹介率が80%を超えるました。当院の特性が認知されたのですね。連携室の役割も大きかった。年に数回、地域の医療機関を招き意見交換会を実施。当院の機能や特徴を知つてもらう機会として重要でした。

**木下** 成果を生む改革の「ツはなんですか。

**岡留** 組織改革には「226の法則」があります。トップが方針を打ち出したとき、すぐ賛同するのは2割、反対が2割、様子を見る人が6割です。スタートして改革の

性期を担う病院であっても、「生活困窮者を済う」という理念を忘れてはいけません。社会福祉事業を高度急性期医療との両輪で展開することで、「済生会の医療」が確立できます。本会は、医療職だけでなく事務系職員もその理念の実現に向けて一緒に頑張っています。

### 薩摩の気風と時の運

**木下** 済生会や日本本の医療界に期待することをお聞かせください。

**岡留** 病院にはそれぞれの役割があります。自院がなすべき役割、立ち位置を明確にし、地域全体を面とした連携システムを確立していくことが重要です。ただし、民間病院が7割を占める日本では、経営的にそぐわない施策を推進するのは困難。それだけに、面で連携する地域医療体制の構築には国の関与も不可欠です。診療報酬などで人的コストや設備投資を支援す

る仕組みや、規制緩和が必要です。済生会の改革をけん引、本部の施設運営委員会では、病院の院長にも檄を飛ばしたのも態度を変える人も出てきます。それで組織の方針に反して改善できない人には辞めてもらう必要があります。当院ではパフォーマンスレビューの評価に基づき、十数人の医師に辞めてもらいました。ただ、そのときも対話が大事です。私は全ての医師と「一对一」でしっかりと話しました。

### 「職員・家族の生活がかかっている」

**富永** 全国済生会病院長会の会長として、

済生会の改革をけん引、本部の施設運営委員会では、病院の院長にも檄を飛ばしたのも態度を変える人もいています。岡留先生の姿には、出身地の薩摩の気風を感じます。

**岡留** 特段意識していませんが、そういう要素もあるのかもしれませんね。でも、どちらかというと西郷隆盛より大久保利通が好きです。大久保の知性や合理性的な考え方方は、明治維新後の日本という国を形成する上で大きく貢献したと共感しています。

**富永** 改革をけん引し実現させてきた岡留先生の姿には、出身地の薩摩の気風を感じます。

**岡留** 改革をけん引し実現させてきた岡留先生の姿には、出身地の薩摩の気風を感じます。

済生会の改革をけん引、本部の施設運営委員会では、病院の院長にも檄を飛ばしたのも態度を変える人もいています。岡留先生の姿には、出身地の薩摩の気風を感じます。

**岡留** 何も考えずに会議に出てきて、表面的なことしか言わない人もいました。衆目の中で恥をかいてもらうのも大事と行動しましたが、思い返すと、かなり厳しい言い方だったかもしれません。同委員会の経営指導委員として現地に赴いたとき、ある病院長に「あなたは交代したほうがいい」と言いました。院長には職員とその家族の生活を守る責任があります。

**富永** 厳しい対応も含め、法人の指向性が



聞き手の富永さん（左）と木下さん



2011年、本会「第四次基本問題委員会」の委員長としてマスタープランである最終報告書を取りまとめ、炭谷理事長に手渡した



本部の施設運営委員会で委員長として議事を進行する岡留氏（中央）



小川滋名誉院長（右・当時）と岡留院長（当時）の就任式典



## 機関誌「済生」に カレンダーにして プレゼント!

載った写真を  
てプレゼント!



「済生」には、支部施設から「トピックス」「大雑報」等で、職員や利用者の笑顔がすてきな写真が多く寄せられています。そして、2022年1月には「済月カレンダー（上期と下期、異なる写真2種類のセット）にして撮影者にプレゼントします。

カレンダーのサイズは、済生会の「なでしこの花カレンダー」と同様です。当選者の発表は本誌12月号に掲載。応募は不要ですが、これまで以上に写真に力を入れてください。

**【撮影】** 大きく引き延ばすので正確なピントと適切な露出にしてください。

**【写真の規格】** 写真はデジタルデータに限り、サイズは1MB以上。

**【送付方法】** いつも通り、原稿と写真をセットにして本部広報室 [koho@saiseika.or.jp](mailto:koho@saiseika.or.jp) に送ってください。ただ、被写体の表情に気をつけて撮影を。写真のデータ量が大きい場合は大容量ファイルで送ってください。

**【参加資格】** 本会支部・施設の関係者

\*応募作品は採用結果にかかわらず法人ホームページページや施設のパンフレット等に使う可能性があります。



写真：首相官邸ホームページから

る・見つける・支えるソーシャルインクルージョン」を2021年2月にオープン、さらなる情報発信に力をいれています。  
<https://www.socialinclusion.jp/>

(本部総合戦略課 鎌倉安男)



【左】宇都宮病院・宇都宮乳児院が取り組む「つながりサポート女性支援事業」の出張相談会 【右上】(福岡)天神中央公園で行なわれたホームレスなどへのインフルエンザの予防接種 【右下】過疎化・高齢化が進み商店が閉店する地域での移動販売(熊本県済生会)

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。

無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。

だれも排除されないまちづくりを目指し、

全支部・施設が1641事業を展開します。



社会福祉法人で初の受賞(写真：首相官邸ホームページから)

## 済生会が社会福祉法人で初受賞 ジャパンSDGsアワードで 内閣官房長官賞

12月24日、  
第5回ジャ

パンSDG

sアワー

ドで「副

部長(内閣

官房長官)

賞」を受賞。

首相官邸で

行なわれた

表彰式で松

野博一内閣官房長官から炭谷茂

理事長に表彰状とトロフィーが

贈られました。社会福祉法人と

しては済生会が初受賞です。

済生会は「施薬救療の精神」の下、「なでしこプラン」でホームレスの健康、刑務所出所者の地域生活など生活困窮者への支援を実施。昨年度からは、「誰一人取り残さず、すべての人が社会で共に生きていく」というソーシャルインクルージョンの理念を具体的な事業として実践していくため、総計1641に上る事業をとりまとめた「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」を策定し取り組んでいます。

済生会はソーシャルインクルージョンを実現するため、これまでに多くの取り組みを行ってきました。その一つが「なでしこプラン」です。これは、ホームレスや生活困窮者に対する医療支援、就労支援、住まい支援などを通じて、彼らの生活を支えるものです。

済生会はソーシャルインクルージョンを実現するため、これまでに多くの取り組みを行ってきました。その一つが「なでしこプラン」です。これは、ホームレスや生活困窮者に対する医療支援、就労支援、住まい支援などを通じて、彼らの生活を支えるものです。

済生会はソーシャルインクルージョンを実現するため、これまでに多くの取り組みを行ってきました。その一つが「なでしこプラン」です。これは、ホームレスや生活困窮者に対する医療支援、就労支援、住まい支援などを通じて、彼らの生活を支えるものです。



炭谷理事長

### 1641事業まとめ 計画、取り組む姿勢が評価

済生会は「施薬救療の精神」の下、「なでしこプラン」でホームレスの健康、刑務所出所者の地域生活など生活困窮者への支援を実施。昨年度からは、「誰一人取り残さず、すべての人が社会で共に生きていく」というソーシャルインクルージョンの理念を具体的な事業として実践していくため、総計1641に上る事業をとりまとめた「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」を策定し取り組んでいます。

済生会はソーシャルインクルージョンを普及・推進するためのウェブメディア「知る・見つける・支えるソーシャルインクルージョン」を運営しています。このサイトでは、ソーシャルインクルージョンに関する情報を発信し、人々の意識変化を促進する活動を行っています。



## ケアマネの役割は地域づくり 荻津院長がヒントを示す

〈栃木〉宇都宮乳児院

地域のコミュニティセンターで11月12日に開かれた介護支援専門員研修会で、荻津守院長が「地域住民のためのソーシャルアクション」をテーマに講演しました。荻津院長は「介護支援専門員には地域づくりの役割が求められている。ソーシャルインクルージョンの理念の下、地域のつながりを意識し支援を広げていけば3次元的支援となり、地域力へとつながる」と語りました。



〈栃木〉宇都宮乳児院

## MSWは いのちをつなぐ 支援を

神経免疫系難病に関するシンポジウムが、11月21日にオンラインで行われ、荻津守院長がMSWの役割を講演しました。山村隆氏の基調講演でスタート。荻津院長は「『いのちをつなぐ』医療ソーシャルワーカーとしてできること」をテーマに講演。治療法が確立されてい

研究会には、地域の介護支援専門員40人ほどが参加。「個人としてどのように地域に働きかければよいか分からなかったが、ソーシャルインクルージョンの話を聞いてヒントがつかめました」という感想が印象に残りました。（済生記者 小針達哉）

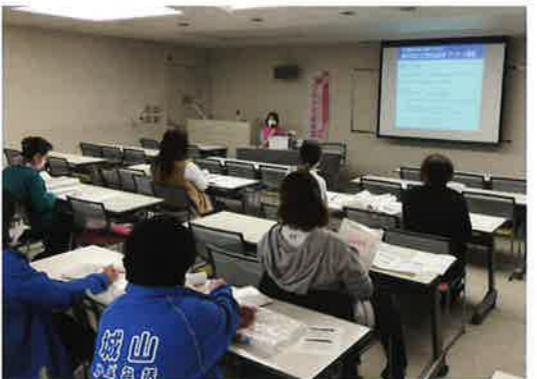
定員100人の参加者からは「病院にMSWがいることで安心感が高まる」「命や生活を支える大切な障害年金や障害者下、自分らしく生きられるよう支援すべきと強調しました。

定員100人の参加者からは「病院にMSWがいることで安心感が高まる」「命や生活を支える大切な障害年金や障害者下、自分らしく生きられるよう支援すべきと強調しました。

サービスにたどり着けない人も多く、MSWの支援の重要性を感じたなどの声が聞かれました。（済生記者 小針達哉）

〈栃木〉宇都宮病院

## 広がる女性支援事業の輪 と新たな連携



当院が宇都宮市から受託するつながりサポート女性支援事業の「つなサポ相談室」が、とちぎテレビの取材を受け、地域連携課の稲見一美課長代理が対応しました。

## 「つなサポ相談室は蜘蛛の糸のよう」 地元テレビが報道

当院が宇都宮市から受託するつながりサポート女性支援事業の「つなサポ相談室」が、とちぎテレビの取材を受け、地域連携課の稲見一美課長代理が対応しました。

当院が宇都宮市から受託するつながりサポート女性支援事業の「つなサポ相談室」が、とちぎテレビの取材を受け、地域連携課の稲見一美課長代理が対応しました。

## 育児中の相談者が多数 相談先がわからないの声も

〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で11月14日、姿川地区市民センターで「女性のための出張相談会」を実施。稲見一美課長代理はじめMSW4人が36人の来場者の相談に応えました。

当日は、同時に市の乳幼児健診が行なわれていました。宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で11月14日、姿川地区市民センターで「女性のための出張相談会」を実施。稲見一美課長代理はじめMSW4人が36人の来場者の相談に応えました。

たため、子育て真っ最中の人が多い多め来場。「コロナ禍で子育てや夫婦関係のことなどいろいろと考えてしまう」「求職中だと保育園に預けることもできず、子育てのストレスも溜まつて悪循環」などの切実な声を聞きました。

相談者には無料で生理用品を配布。「自分と娘たちの生理用品代、鎮痛剤代の出費が毎月の家計を圧迫しているのでありがたい」と感謝の声をいただきました。

今回相談先が分からず困っている人への情報発信の必要性を感じました。今後も支援が行き届くよう、関連機関と連携していきます。（地域連携課 秋山綾香）



（地域連携課 秋山綾香）



（地域連携課 秋山綾香）

番組では、経済的困難のため慢性疾患の治療を中断し困り、つなサポに相談した女性も登場。「泣けないことをさらけだすのは躊躇もしましたが、話してよかったです。つなサ

稻見課長代理は「悩みごとは家族にさえも話しがくいこともある。自分ひとりで抱え込み、どんどん心が苦しくなっていつてしまう」と現状を説明。その上で「あなたはひとりじゃない。まずは話してほしい」と呼びかけました。

ボ相談室が蜘蛛の糸のよう」に思えました」と、涙ながらにインタビューに答えました。（地域連携課 菊地悠一郎）

現のためにも、つなサポの活動を通じ地域との連携をさらに強化していく」と述べました。

この模様は、とちぎテレビ「ナイトニュース9」の特集として12月23日に放送されました。（地域連携課 菊地悠一郎）

COVID-19 時代の神経免疫系難病筋性脳脊髄炎／慢性疲労症候群(ME/CFS)指定難病や患者の社会保険獲得に向けて

2021年11月21日(日)13:00~15:30 zoom  
基調講演「免疫性神経疾患としてのME/CFS: Update」  
国立精神・神経研究所センター神経研究所免疫部長  
山村 隆先生  
第二部  
「いのちをつなぐ」医療プロジェクトとしてできること  
地域連携課長代理  
「免疫性難病と慢性疲労症候群の背景と治療」  
椎名英輔先生  
「COVID-19 時代のME/CFSの現状と治療」  
吉野 千賀  
「COVID-19 時代のME/CFSの現状と治療」  
菊池 三洋子  
お申込み  
NPO法人 神経免疫疾患のための情報発信センター  
TEL: 010-6235-6233  
受付時間: 月曜日～金曜日 10時～17時  
受付メール: info@npo-nic.jp  
お問い合わせ  
NPO法人 神経免疫疾患のための情報発信センター  
TEL: 010-6235-6233  
受付時間: 月曜日～金曜日 10時～17時  
受付メール: info@npo-nic.jp  
W  
ソーシャルインクルージョン



ソーシャルインクルージョン

## 過去最多の80人が参加 買い物ついでにイオンで健康相談会



### 〈富山〉高岡病院

高岡病院は12月11日、イオンモール高岡で無料低額診療事業の広報活動と健康相談会を開催しました。

済生会の理念や無低事業の説明、医師の健康相談、看護師の血圧・酸素飽和度測定、訪問看護師の訪問看護利用相談のほか、体脂肪測定・筋肉量測定・骨密度

ア児支援センターの在り方を考えました。みえる輪ネット事務局からは、10月に三重県南部を対象に行な

## 更生保護施設で 健康診断・健康相談会

### 福岡総合病院



つた「医療的ケア児及びその家族の災害への意識と抱える課題に関するアンケート調査」を報告。発電機など物品の用意は進

## イベント参加で地域連携強化。感染・美化活動は町内会と共に



### 〈神奈川〉若草病院

若草病院・金沢若草園・わかくさ保育園・わかくさ

訪問看護ステーションが立地する平潟町の町内会防災訓練が12月4日に開催。済生会横浜金沢医療福祉センターの感染・美化ワーキンググループ（リーダー・藤本武・金沢若草園園長）は、町内会と連携して感染・美化活動を実施する目的で参加しました。

起震車体験や消火訓練などが実施される会場に、若草病院感染防止対策室が監修した感染対策と、済生会横浜金沢医療セン

ターグループ（リーダー・藤本武・金沢若草園園長）は、町内会と連携して感染・美化活動を実施する目的で参加しました。起震車体験や消火訓練などが実施される会場に、若草病院感染防止対策室が監修した感染対策と、済生会横浜金沢医療セン



## 3回目の食糧支援事業

### 〈三重〉明和病院

明和グループは12月20日にフードバンク松阪へ、翌21日にはフードバンクISEへ、3回目の食糧支援事業を実施しました。

感染対策のため、各部署に回収BOXを設置し食品の提供を呼びかけ。合計12箱分のインスタント麺・レトルト食品・缶詰・お菓子などが集まりました。実家が米農家の職員は、毎回30キロのお米を持ってきてくれます。

こうした活動が社会全体に広がることを願いながら、今後も取り組みを継続していきます。

（済生記者 石田真央）

## 行動」が地域のミッション 第14回みえる輪ネット



### 〈三重〉明和病院

明和病院が事務局を務める三重県南部医療的ケア地域支援連携会議（みえる輪ネット）は11月14日、「これからに備えて」をテーマに第14回会合を開催しました。

全国に先駆けて、東京・世田谷区で医療的ケア相談支援センターを開設した「Hi.na.ta」の等々力寿純さんを招き、三重県内の医療的ケ

んでいる一方で、避難訓練など実際の活動に課題があり、個別避難計画の作成も少ない」といった地域の問題点を明示。課題解決に向けた行動を地域のミッションとして取り組んでいます。

（児童指導員 係長 青木哲也）

も頼る人がいない」「生活環境に恵まれない」「自立更生が難しい」などの事情を抱える人が、安心して地域生活へ復帰できるよう一定期間生活するところ。

医師の問診では、生活習慣病を指摘される人が目立ちました。新型コロナは入所者の生活にもさまざまな影響を及ぼす中

で、私たちの活動が健康増進に寄与できるよう頑っています。

健診後の入所者さんは一人ひとり、マスク越しにもわかる笑顔でお礼を述べてくれました。今後も当事業を継続し、皆さん

（医療社会事業課  
瀧谷梨紗）

## 〈山口〉貴船福祉ケアセンター



広報室に写真を「がんばろう！ 済生会」はつづく

全国済生会の皆さん、ぜひ仲間たちに写真メッセージを送ってください。

# がんばろう！ 済生会

「必死でがんばる同じ済生会の  
員を何とかして応援したい！」済生  
会京都府病院の職員の思いが全国  
に広がっています。新型コロナと  
の闘いはまだ続きますが、どこにい  
ても、私たちの心はひとつ。がん  
ばる仲間を応援しています。

KEEP DISTANCE!!





**うわーりー・きのした** 1971年生まれ、東京都出身。神戸大学在学中の93年、劇団☆世界一団(現sunday)を結成。自身がプロデュースするTHE ORIGINAL TEMPOはエンジンバラ演劇祭で最高峰の五つ星を獲得、海外で高く評価された。幅広いジャンルの舞台で脚本、演出を手掛け一方、フェスティバルディレクターとしても活躍。「東京2020パラリンピック」の開会式の演出を務めた。近作に「バクマン。」THE STAGE、ハイパー・プロジェクト演劇「ハイキュー!!」ほか。

自身も阪神淡路大震災で被災し、クラッシュ症候群に苦しんだ経験がある。「もし自分がたら」という感覚は常に持っている。片や東京2020パラリンピックの開会式は、希望に満ちたエンターテインメントに仕上がった。13歳の車いすの少女が主役としてチームを引っ張り、ALSと闘う男性クリエイターは電飾のデコトラで登場し、目の動きだけで音楽や映像を操っていた。

「出演者全員がやる気満々である意味、僕は何もしていないというか。簡単な設計図を見せるとそれぞれがアイデアを出し合い、自分たちらしい花を咲かせてくれた。僕も感動して泣きました」と感慨深げ。「これからも人の心の深いところに刺さる作品をつくみたい」と話す木下氏の活動に注目



### 『僕はまだ死んでない』

意識が戻ると、壁に包まれた病室。父と担当医、僕の友人が話をしている。何が起きたのか……身体が動かない。担当医は淡々と告げる。「元通りになる可能性はない。生き延びたことを奇跡だと思ってほしい」なるほど、そういうことなのか。僕は、かろうじて動く目と瞼だけで意思疎通の方法を探る。そこへ離婚調停中の妻が面会にやってくる……

■原案・演出: ウォーリー木下 ■脚本: 広田淳一  
■出演: 矢田悠祐、上口耕平、中村静香／松澤一之・彩吹真央  
2022年2月17日(木)~28日(月) 銀座・博品館劇場で上演

ある日突然、自分自身、あるいは大切な人が倒れ、意識はあるのに会話ができなくなったら、何を想い、どんな治療を選択するのか? 本作について木下氏は次のように語る。「病気や事故に遭うと『なぜ自分なんだ?』と思いませんよね。それは裏返せばあらゆる災難に対して『なぜ自分じゃなかつたんだ?』と思

うこともできる。一瞬の運不運はそれまでの行ないとは無関係にやつてきて、人生を変えてしまう。そんな理不尽な世界に僕たちは生きているのだと、お芝居を見ながら思えたら、ある種の『当事者性』が生まれるんじゃないかな……それが今回の大きな狙いです」

心の深いところに刺さる舞台を目指して、これからも作品を届けたい。

昨夏、東京2020パラリンピックの開会式で演出を務めたウォーリー木下さん。「片翼の小さな飛行機」が仲間の助けを借りて飛び立つストーリーに感動した人も多いでしょう。次の作品の舞台は病院。「終末医療」をテーマに、閉じ込め症候群になった主人公と周囲の人たちの心の交流をていねいに描きます。このテーマ、あなたならどう向き合いますか?





吉井省一

しか女子自身の長寿や健康を祝うお菓子となつたそう。今ではひな祭りだけでなく、結婚や出産などのおめでたい席でも贈られることもあります。

一つひとつ職人さんの手で仕上げられていく「桃カステラ」は、長崎の多くの和洋菓子店で競作されていますが、それ



清生会の[病院・施設]がある  
県内の市町村

## 53 桃力カステラ

《松翁軒》

長崎県長崎市



職人たちが自分専用の窯で天候や気温を考慮して丁寧に焼き上げる

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。

**も** うすぐ桃の節句。おひな様を飾り、ひなあられなどを食べて過ごす三月三日を待ちわびている女の子たちも多いことでしょう。ふさわしいBG Mはもちろん、サトウハチロー先生の「うれしいひなまつり」。崎のみなさんが召し上がっているのが「桃カステラ」。桃の果肉や果汁を使っているわけではなく、カステラの上に桃の形の砂糖細工がのった可愛らしいスイーツ。長崎らしいちよつとハイカラな郷土菓子なのです。

桃の果実を模した

長崎の可愛い縁起菓子

古くから不老不死の果実、長

寿の象徴とされてきた桃を模して作られた「桃カステラ」。かつては初節句を迎えた子どもへのお祝いのお返しの品として用いられていましたが、いつ

つかや枝の形、その素材や味も微妙に異なっています。そのため、ひいきのお店を決めていらっしゃる方もいれば、毎年お店

で仕上げていく「桃カステラ」は、長崎の多くの和洋菓子店で競作されていますが、それ

ぞのお店で葉っぱや枝の形、その素材や味も微妙に異なっています。そのため、ひいきのお店を決めていらっしゃる方もいるとか。いずれにしても長崎つ子たちにとって、この郷土菓子が無ければ桃の節句は始まらないと言われています。

こうした地元に根ざした「桃カステラ」ですが、今回は創業天和元(1681)年の老舗「松翁軒」のものを紹介させていただきましょう。

しつとり丁寧に焼き上げた長崎名物のカステラに、砂糖と水飴を丹念に練り上げた「すり蜜餞(フオンダン)」をたっぷり一度掛けし、乾いて白くなつたところで飾りの葉っぱと枝で桃の果

実のように仕上げていきます。

この葉っぱや枝にマジパン(砂糖とアーモンド粉末を練り合わせたもの)を使う店が多い中、練り切り(白あんとつなぎを練り合わせたもの)を使うなど「松翁軒」では細部にもこだわっています。



その可愛さゆえ贈り物にも好評



ふんわりしたカステラとすり蜜の上品な甘さ

箱を開けると、華やかな彩りの「桃カステラ」が目に飛び込んできます。想像以上に大きく、長さ10cm、高さ5cmくらい。見た目の存在感があります。ほんのり紅を引いたようにピンクがかつた表面に鮮やかなうぐいす色の葉っぱ。黄色の枝がちよこんと付いているのももぎたての桃を思わせて、こころ憎い

ほどのキュートさです。

あまりの可愛さにどこから食べようかしばし迷ってしまうところですが、思い切ってフォークで切つていただくことにいた

しましょう。

カステラの部分は通常のカステラの甘さとしつとり感をやや抑えているのが分かります。上のつた砂糖菓子の甘さとのバ

ラヌスをとつてているのでしょうか。確かに、通常の甘さのままではダブルの甘さがしつこ過ぎるのはず。

うーん、お口でゆっくり溶けするすり蜜のどこか懐かしい甘さと練り切りの白あんのほっこりとした甘さがやさしく混ざり合つて、それを創業三百余年の老舗自慢のカステラの美味しさがつかり支えているという感じ。和(日本)・華(中国)・蘭(オランダ)文化と称されるさまざまな食文化の交差点となつた港町長崎の食への飽くなきこだわりを、じんわりと実感させてくれる一品なのです。桃など入っていないのですが、気のせいか、お口の中にはんのり桃の香りが漂うのは、見た日の印象から来るものでしょうか。

ここまで上質な甘さなら、合わせる飲み物は、コーヒーでも、紅茶でも、抹茶でも、ミルクでも、何でもウエルカム。ちょっと大きめかなと後ずさりしたサイズも、最後まで独り占めしたくなります。これは桃の節句だけではなく、一年中食べたい。しかし、残念ながら、「松翁軒」ではこの時期(1月中旬~3月末頃)だけの限定品となつております。

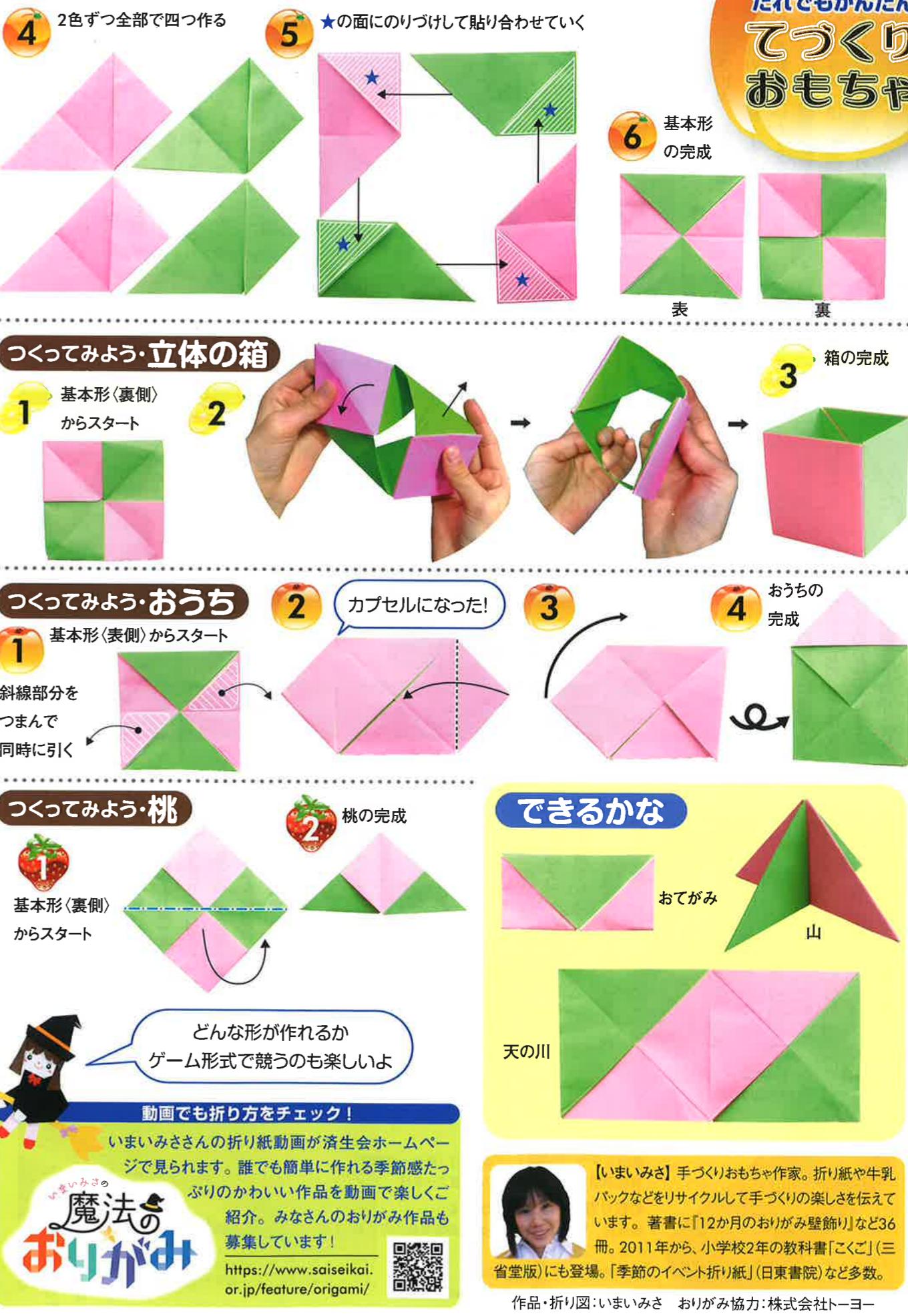
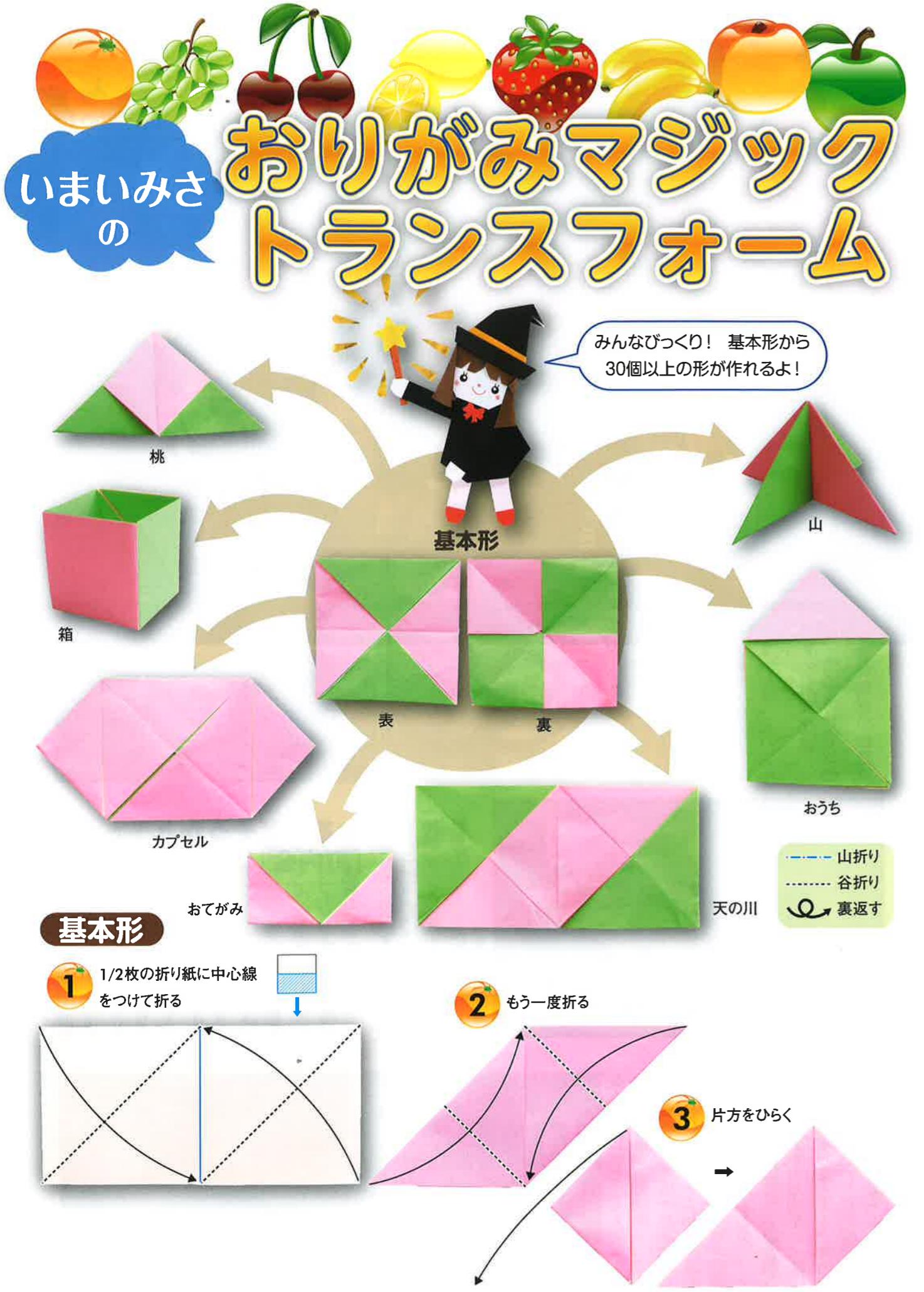
桃カステラ【3個入】2,494円(税込・送料別)  
賞味期限……お届け日より常温7~8日

お取り寄せ・お問い合わせは

松翁軒 TEL: 0120-150-750  
営業時間: 9:30 ~ 17:00  
ホームページ: <https://shouken.com/>



今年は、いつものひなあられに加えて、この「桃カステラ」で長崎風に桃の節句をお祝いしてみてはいかがでしょうか。





## 嵯峨美術大学と協働 小児科ホスピタルアート

京都府病院

6月1日に開

院予定の新病院  
小児科病棟でこ  
のたび、産学連

携「ホスピタル  
アートプロジェ  
クト」が本格始  
動しました。

発起人は、勝

見良樹小児科部  
長で、当院の新病院内装・サイ  
ン検討ワーキングが事務局を担  
当。当院職員と嵯峨美術大学芸  
術学部デザイン学科グラフィッ  
ク領域の池田泰子教授、2年次・  
3年次の大学生38人が参加して  
います。

意見交換、学生ミーティング  
を経て「動物モチーフ」「子ど  
もたちや家族の気持ちを癒やす  
もの」「アートを通じて明るい  
対話がうまれるもの」をテーマ  
に決定。

昨年12月には新病院の現地見  
学会を実施、小児科病棟を確認  
しました。学生たちは「病院に  
携わるすべてのみなさんの気持  
ちを思い、頑張ります」と真剣  
な表情で決意を述べ、私たち職  
員も刺激を受けました。

(企画広報室長／内装・サイン  
検討WGリーダー 松岡志穂)

（企画広報室長／内装・サイン  
検討WGリーダー 松岡志穂）



2年ぶりに開催された奈良マラソンに、奈良病院と訪問看護ステーション野の花の職員が医療スタッフとして参加しました。  
この記事は56ページをご覧ください。



## 福井県済生会病院 神崎さん、永年ありがとう ボランティア10年表彰

福井県済生会病院

当院で永年、活動しているボ  
ランティアの神崎有且さんに1  
月18日、永年勤続賞を授与しま  
した。登谷大修院長が永年の支  
援に対する感謝の言葉を述べ、  
表彰状・永年勤続バッジ・花束  
を贈呈しました。

神崎さんは2011年から  
10年間、週に3日ボランティア  
で来院。朝7時には、外来受診

で院内ボランティアの責任者・  
脇和枝看護部長は「神崎さんに  
対応する姿から多くのことを学  
ばせてもらっています。ありが  
とうございます」と讃えました。  
(済生記者 吉川千恵)

若草病院は今年度、従来の患  
者サービス(CS)委員会を  
「ES・CS委員会」に改組し、  
委員長の筆者を中心にも多職種で  
新たな取り組みを始めています。  
職員を大切にして満足度を高  
めるのが狙い。モチベーション  
アップが病院の業績改善につな  
がるのを期待しています。職員  
満足度を調査する「調査チー  
ム」、院内掲示などで啓発する  
「実行チーム」、人材育成担当の  
(委員長／泌尿器科部長 酒井直樹)



## 職員を大切にする委員会

(神奈川) 若草病院

「研修チーム」に分かれて活動中。  
「ヒューマンスキル(他者との  
良好な関係を築く力)重視」を  
掲げ、職員の横断的なつながり  
の向上を目指し、手探りで動い  
てきた1年を振り返ると……。  
調査チームはアンケートで課題  
を抽出、実行チームが情報を探  
員へフィードバック、研修チー  
ムも「ミニユニケーションについ  
て知識をつける研修を実施する  
など、各チームが運動し機能。  
元々、離職率が低く話しやす  
い環境の当院ですが、さらに働  
きがいのある病院を目指します。



## なるほどそうか!! 「町内会」は気づきの場

(山形) 特養やまのべ荘

当莊は、地  
域密着型の2  
ユニットを  
「りんどう一  
丁目」「りん  
どう二丁目」  
と名付けてお  
と称したお茶  
飲み会を昨年  
度から実施し  
ています。

町内会には、  
各ユニットの入居者2~3人が  
代表として参加。生活面の意見・  
要望をスタッフが伺っています。

1テイ়ーを実現させました。ソ  
ースの焦げる匂い、立ち上る湯  
気を近くに感じてもらい、出来  
立てを提供でき大好評!

コロナ禍で外出や施設全体で  
の催しが難しい今、入居者さん  
の生活を潤す一助として「町内  
会」を活用していきます。

★これまでに入居者と一緒に  
施設の暮らしを考える。町内会、  
ナイスアイデア!ですね。

(本部広報室 河内淳史)





# topics

## 人間関係って大切ですよね

香川県済生会病院

メンタルヘルスセミナーを12月10日に開催。昨年のストレスチェックで、高ストレスの職員が若干増えていることが明らかになりました。

講師に、香川大学医学部臨床心理学科の野口修司准教授を招き、管理職と全職員向けの二部構成で講演しました。管理職向けでは信頼に基づく上下関係の作り方や部下への気遣いを、全職員向けではストレスへの対処法などを学びました。

野口氏は、「人間関係のストレスは業務量増加のストレスに比べて影響が大きく、良好な人間関係の力によって、業務ストレスはある程度カバーできる」と話しました。改めて、周囲のサポートの大切さを感じました。

(総務課 西山汐里)

## ヨガ教室でリラックス

出張ヨガ教室を12月6日を開催し、職員19人が参加しました。安全衛生委員会が数年前から実施している企画です。

香川県済生会病院

Fins'ヨガスタジオのインストラクターが来院し、BGMが流れリラックス空間で、腰痛に効くヨガ体験を行ないました。参加者は「普段から肩こり腰痛があるので、ぴったりの内容だった」「興味はあるがなかなか触れる機会がなく、無料で体験できてよかったです」と好評。

シケートでも、大きなストレスを感じ、関節や体調に不安を持つスタッフが目立ちました。

(総務課 西山汐里)



横浜市神奈川消防署から新年1月に感謝状をいただきました。表彰理由は「済生会神奈川県病院における近年の救急車受入台数大幅増、及びCOVID-19患者受入に対する感謝」です。

当院は2018年2月、回復期リハビリから急性期中心に機能転換。救急車受入台数は、昨年度1135台、今年度も

5年間で4倍に増加しました。日頃から、地元救急隊との連絡会などで連携強化に努め「医療に従事する地域の仲間」として認めています。当院の救急受け止めています。医療への期待の大きさを感じ、改めて身が引き締まる思いです。

(医療秘書室 横本美香)

## 5年で救急車4倍

## 消防署から感謝状

神奈川県病院

昨年度を上回る見込みで、この5年間で4倍に増加しました。

日頃から、地元救急隊との連絡会などで連携強化に努め「医療に従事する地域の仲間」として認めています。当院の救急受け止めています。医療への期待の大きさを感じ、改めて身が引き締まる思いです。



救急担当医師及び看護師(撮影のためマスクを外しました)

## 創作意欲がどんどんどん

デイサービス利用者さんの作

品を、坂町主催の「令和3年度みんなでつくる作品展」に出演しました。

折り紙・習字・籠・クリスマスリースなどいずれも素敵な作品ばかりで、皆さん作品展に向けて一生懸命制作。12月1日から坂町市民センターで展示されました。作品を見る利用者さんの表情は晴れやかで、笑顔は達成感にあふれていました。

新たな創作意欲が生き立てられた皆さん、早くも次の作品制作に着手。これからもいろんなチャレンジをしていきます。

(生活相談員 加藤麻々美)

## サイバー犯罪を学ぶ

教育委員会主催の防犯研修を行なった。約30人の職員が参加しました。

講師の下関警察署生活安全課の古井達也警部補が、昨今の犯罪情勢とサイバー犯罪を解説。現状と被害防止策、動画によるストーカー対策などが語られました。参加者は「偽アカウントや、偽サイトを見分けるポイントや、被害に遭わない対策を知ること



(奈良支部事務局長 奥田善之)

具体的例がよく分かった」と納得。便利なインターネットを逆手に取ったサイバー犯罪が増加し、手口もいつそう複雑・巧妙になっています。その中で、インターネット利用者自らが被害防止対策を講じることが必要不可欠だと、再認識した研修でした。

(済生記者 新田和美)

## Webコンプライアンス研修

奈良支部

奈良支部の3病院(中和、奈良、御所)をZoomでつな



いだWebコンプライアンス研修を1月14日に開催しました。オミクロン株の蔓延状況を踏まえた対応で、職員の感染予防と効果的な研修の両立を目指した取り組みです。

参加者は各施設の幹部職員47人。第一部で、炭谷茂理事長の講義ビデオ「済生会におけるコンプライアンス・人権問題を中心にして」を配信。第二部では、久永倫聖奈良病院長を講師に、「コンプライアンス意識の醸成と社会的責任について」と題した伝達研修を受講。コンプライアンス遵守の重要性を再認識しました。





# topics

## 祝！ロボット手術2000例

熊本病院



立腺がんからスタートしました。16年に腎がん（腎臓がん）、18年に呼吸器外科分野・消化器外科分野・心臓血管外科分野へ保険適用が拡大されたことに伴い、実施領域を拡大。19年1月には、複数診療科で構成する横断的組織「ロボット・低侵襲手術センター」を創設。

現在は2台のDaVinci Xiで4分野9疾患の手術を実施。今後も対象疾患の拡大や診療体制の充実を図りながら、地域に低侵襲治療を提供していきます。

（済生記者 東 賢剛）

熊本病院は、昨年12月に累計2000例を達成しました。内視鏡手術支援ロボットDaVinciを導入したのは2013年3月で、前立腺がんからス

手術に取り組む一環でロボット

低侵襲治療の

第4回未来連携フォーラムを12月6日からの5日間、オンラインで開催しました。

当院が実施する高度医療の最新情報、これから目指す未来を伝え、地域の先生方との交流を図る目的で、2018年から毎年開催する同フォーラム。今回は「本気で取り組む、集学的

地域の先生方に発信しました。開催期間中は、地域から多くの医療機関の先生方が参加し、5日間の聴取数は延べ1000回を超えた。最終日は、参加者から寄せられた質問・意見をもとにディスカッションを行いました。

（済生記者 東 賢剛）



**忘れてはならない大震災**

和歌山 有田病院

（済生記者 大向伸正）

がん診療」をテーマに、全18講演・プログラムを行ないました。当院でがん診療を担当すべての診療科の医師が登壇。手術・薬物療法・放射線治療・緩和医療など、当院が目指す「切れ目のないがん診療体制」を網羅し、

いために、そして住民の危機管理高揚のために協力を」と、湯浅警察署から依頼を受けて実施しました。

展示物を見た人は「決して忘れてはいけない阪神・淡路大震災を教訓に、地域で何ができるのかを考える機会になりました。

熊本病院OB会が25周年を迎え、熊本福祉センターほかのみのパン工房ふわりで作ったパウンドケーキを、記念品として会員に贈りました。

総会・懇親会はコロナ禍で2年続けて中止。なんとか25周年をお祝いしようと企画しました。OB会の前身は、1993年創設の「城北なでしこ会」。開

**OB会25周年を祝う**

熊本県済生会

た」と話してくれました。

大規模災害の記憶と教訓を、次世代につなげていく大切さを改めて感じました。

（済生記者 大向伸正）

新病院建設の起工式を12月22日、病院関係者・設計会社・施工業者のみで行ないました。

現病院は竣工から35年が経過。外壁の劣化や空調設備等の故障が続き、診療提供体制の維持に影響が生じています。そこで2018年に新病院建築委員会を立ち上げ、基本設計・実施設計を経てこの日を迎えるまし。

新病院は、現在の病院本館北側駐車場に、地上7階の建物を新築。その後、本館を取り壊し、東棟・南棟・西棟を連結する計

## 新病院の起工式

（愛媛）西条病院



医療技術部臨床検査科の井出義子科長補佐が、令和3年度茨城県表彰「新しいいばらきづくり表彰（個人）」を受賞し、12月14日に当院済生会ホールで表彰式を行ないました。

茨城県臨床検査技師会理事も務める井出さん。「臨床検査技師の役割や疾病予防の周知に取り組み、疾病的早期発見の推進に尽力するとともに、新型コロナに対する正しい知識普及にも貢献した」ことが評価されました。

井出さんは「これからも患者さんに寄り添い、正確な検査結果を報告していくよう努力していく。臨床検査技師が少しでも患者さんに認識してもらえるように、外部への普及活動にも努めたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。

（済生記者 丸山健太）





# topics

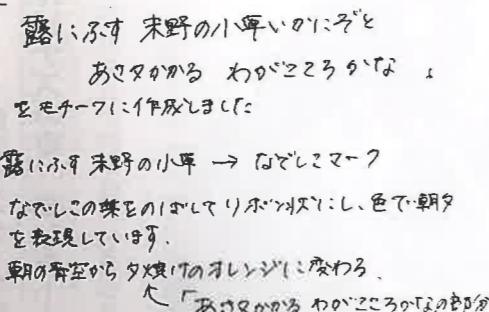
「全員が身につける職員証なので、時代が変わっても初代総裁を採用しました。」

「丸で研究に取り組み、さまざま気づきが得られました。発表後も取り組みは続いています」と成果を述べました。

「専門性が高い高まり、それが入居者さんの生活をさらに安心・安全なものにしているこの好循環が荘内学会の意義だと再認識しました。」

(済生記者 高橋 瞳)

## 職員証のデザインを一新



### 生命保険協会から 地域支援の足、いたぐ

生命保険会社の有志団体・生命保険協会広島県協会からこのたび、社会貢献事業の一環で福祉巡回車両が寄贈され、12月14日に広島県社会福祉会館で贈呈式が行われました。これは広島県社会福祉協議会と広島県地域包括・在宅介護支援センター



(社会福祉士 木下健一)  
ハツ・ミライース)は、「地域支援の足」として最大限活用します。

「丸で研究に取り組み、さまざま気づきが得られました。発表後も取り組みは続けています」と成果を述べました。

「専門性が高い高まり、それが入居者さんの生活をさらに安心・安全なものにしているこの好循環が荘内学会の意義だと再認識しました。」

の思いを受け継いでいることを表したかった」と、作者の臨床栄養科・渡辺優さん。渡辺さんを含め、最終選考に残った5人の職員(写真)には、小林智院長より金一封が贈られました。

院内に災害対策本部を設置し、12月12日の日田市合同防災訓練に合わせて、当院でも同日、災害発生を想定した訓練を実施しました。

## 院内でも災害訓練

(済生記者 久保田倫有)



は、臓器損傷や骨折などあらゆる患者を想定し、ポータブル撮影・一般撮影・CT・緊急angiography(血管造影)が入った場合の検査の流れを確認しました。万が一災害が発生した際は一連の検査が滞りなく行なえるよう、日常から効率のよい検査実施を意識していきます。

(放射線技師 倉掛真紀子)



りんどうユニットの「居心地の良い環境づくり」で、12月24日に阿部久施設長が表彰状を授与しました。当該職員は「チーム



## 合同防災訓練にDMAT隊

災害発生現場から搬送された人たちの再トリニアージを実施。重症度の高い患者さんから必要な処置や検査を行なうなど、一連の流れを訓練しました。

訓練は、山が崩落して国道と家屋が土砂に埋まつた現場を想定・再現。人命救助訓練などを実行いました。

当院 DMATは、災害対策本部の要請を受け出動。救護ネットの設営、災害現場での救護活動、当院への搬送までの一連の流れを確認しました。

実際の災害発生時には一人でも多くの人を救助できるよう、引き続き取り組んでいきます。

本部の要請を受け出動。救護ネットの設営、災害現場での救護活動、当院への搬送までの一連の流れを確認しました。

## 第7回荘内学会

会を11月15~30日に開催し、「認知症ケア」「困難ケース事例検討」「新型コロナウイルス感染症対応」などの研究報告9題を選出。最優秀賞は、あじさい。

坂町は、坂道や車で入っていました。

ハツ・ミライース)は、「地域支援の足」として最大限活用します。

(社会福祉士 木下健一)

## 要配慮者対応の防災訓練で地域共生大賞

### 静岡医療福祉センター成人部

要配慮者に対応した地域防災訓練（主催・西豊田学区地域支援体制づくり実行委員会）が12月11日に近隣中学校で開催されました。同委員会の構成員である静岡県済生会の病院・施設の職員は、行政や大学（教員・学生）、地域の福祉施設などと訓練に参加しました。



訓練では、車椅子や発達障害の人に対する配慮が必要な場面を聞き取り、必要な用テントへ誘導。また、静岡ホームクリニックの顧問・望月悦子看護師が、普段以上に注意が必要な避難所での感染症予防を、筆者が適切な手洗いを確認できる「手洗いチェック」の使用法をそれぞれ説明、地域住民など100人以上に試してもらいました。この訓練を毎年続けています。



「がんの授業」を行ないました。市教育委員会によるがん教育の一環で、がんの正しい知識を伝え命の大切さを学ぶのが目的です。

岡本病院長は「がんってどんな病気?」「何が原因?」「どうしたら予防できるの?」など分かりやすく説明。生徒は熱心にメモをとり、「日本人の2人に1人ががんになると聞き、身近に感じた」「生活習慣を見直したり、検診を受けたりする大きさが分かった」と話していました。

がんの知識を深めるだけなく、周りの大切な人に予防や検診の重要さを伝えるきっかけになつてほしいです。

（事務部室 中里 彩）

### 7ヶ月遅れの宣誓式

第27期生39人の宣誓式を11月29日に行ないました。

宣誓式は、現場実習を行なう前に、看護師になる気持ちと決意を表明して誓う場で、例年は4月に実施。しかし昨年は新型コロナの感染状況を鑑み、この

### 茨城県潮来市から感謝状

（茨城）神栖済生会病院

新型コロナ拡散防止で  
潮来市から感謝状



ナウイルス感染症拡大防止の功績が認められ、同市の市政施行20周年記念式典で感謝状をいただきました。神栖市にある当院は、隣接する潮来市のワクチン接種も担当し、その協力が認められて授賞につながりました。

潮来市の茂木衛・市民福祉部長から感謝状を受け取った中村慶春院長は「潮来市の医療に少しでも貢献できたことを、職員全員で喜んでおります」と述べました。

今後も地域医療への貢献に努めます。

（済生記者 谷田 薫）

茨城県潮来市における新型コロナ

神栖済生会病院は11月27日、

### 静岡済生会

### ルピナスの春、楽しみ!

当センターの中庭に12月15日、



外来待合室からも見えるので、季節を感じ和める中庭にするのが目標。まずは春の開花を楽しみに、みんなで大事に手入れしていきます。

（済生記者 岩崎つかさ）

### 高齢者の見守りスタート

西条特養は昨年12月、西条市の徘徊高齢者見守りネットワーク事業「認知症みまもりねつ」と登録しました。

認知症みまもりねつとは、地域全体で高齢者を見守るネットワークです。認知症高齢者に必

要な支援、認知症および高齢者の見守り支援事業の普及啓発、行方不明者発生時の業務に支障のない範囲での捜索などを行ないます。

当施設も、地域を支える施設としての自覚と責任を再認識し、認知症高齢者が安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。

（生活相談員 中野佳弥）

### 岡本病院長が「がんの授業」

岡本好史病院長が11月～12月に静岡市内の中学校3校で



## 地域のみなさん、見て見て

広報強化の一環で、12月に当院公用車用のマグネットシートを作成しました。

きっかけは、広報に関するオンライン研修への参加。ある病院が、住民に病院名や訪問診療を知つてもらうため、訪問診療車用オリジナルマグネットを作成・活用していることを知りました。



当院も訪問診療や訪問リハビリを行なっていますが、病院名入り公用車が少なく、みすみ病院の車であることをすら気づいてもらえませんでした。

マグネットシートのデザインは、海に近いみすみ病院のイメージを「波」で表し、可憐な花を添えました。

地域への印象付けはまだこれからですが、少しづつでも目に留まり覚

えでもらえるように、まずは一歩前進できたかな!?

(済生記者 船橋麻紀)

## みすみ病院 新型コロナ3回目接種

昨年4月に2回目接種を終えた職員を対象に、新型コロナワクチンの接種日を確認して予定を組み、診票や接種券を使用するため、誤って廃棄しないよう事前に何度も周知しました。



## 次世代幹部会合が「1チーム」に

（神奈川）若草病院

（経理課 石山 純）

本誌昨年7月号で第一報した、係長・主任クラスのチーフミーティングを続報します。

上半期は、業務内容と課題を各自がパワーポイントで報告し、互いの認識を深め合いました。

そして下半期は、その掘りを進行。吉田勉リーダーでも目に留まり覚

I（経営企画室室長）の提案でSWOT分析（強み・弱み・機会：Opportunity、脅威：Threat）を用い、課題解決をディスカッション。考える方法を統一したこと、多様な視点の意見が多く出て、予定時間を

クチンの3回目接種を、12月8ヵ月以上経過が原則。対象者の接種日を確認して予定を組み、診票や接種券を使用するため、誤って廃棄しないよう事前に何度も周知しました。



## 活気のある職場とは？

看護部教育委員会は2年ぶりとなるワールドカフェを12月23日に開催し、看護師53人が参加しました。

当院は、なでしこプランの一環で、2010年12月から更生保護施設入所者に対し、定期的な診療・健康診断、インフルエンザワクチンなどの予防接種を行なう医療支援活動を続けています。



当院の基本方針の一つ「済生会職員として和を重んじ活気のある職場にします」の具体化を目指し、「活気のある職場とは」をテーマ設定。各職場で取り組んでいること、理想とする職場像について意見交換しました。

サンタクロースの帽子をかぶった進行役のおかげで、各グループとも和気あいあい。「目標を意識することが大切」「あいさつが一番大事」「感謝の気持ちを伝えよう」など、参加者は活発に発言し合い、交流を深めることになりました。

最後に「明日から自分ができることができました」とカードに書き、各自に意識付けて終えました。

（看護師長 木村 園）

（広島）老健はまな莊 貼り絵で「黄金の虎」

はまな莊の通所リハビリでは、恒例で、利用者さんや来莊者の目を楽しませてくれます。

寅年の今年、いくつかの作品の中でひと際目立つのが「黄金の虎」。貼り絵が大好きな利用者の三島勇さんが、12月に計6日かけて一生懸命作り上げたも

現在は、春に向けてウグイスを作成中。利用者さんのリハビリ意欲を高めるためにも、出来上がった、また機関誌「済生」でご紹介します。

（済生記者 西園桃子）

鹿児島病院は、九州地方更生保護委員会から11月30日、更生保護活動における功労が認められ

左から地域医療連携室(社会福祉士) 竹中康代、医事課健診係長(元地域医療連携室長) 宮脇恵、院長 久保園高明



# topics



い位置合わせも早く正確です。小さながんにピンポイント照射でできる「定位放射線治療」や、放射線の形を細かく変えて照射できる「強度変調放射線治療」にも適しており、より高精度の放射線治療が可能です。

リハビリテーションセンター

には、検査からリハビリまで対

応できる運動負荷試験室と心臓リハビリテーション外来を開設しました。作業療法室には新たにADL訓練用の設備を導入。ロボットストレッサー「HAL」を使用した歩行練習や、呼吸器リハビリ也可能になりました。

(済生記者 川原彩花)

## 3回目のワクチン接種

1月12日から2月4日までの予定で、当院の職員約1700人に、3回目のコロナワクチン接種を実施しました。

昨年は、3～5月に職員向け優先接種を、8～10月に栃木県内在住の12歳以上に同ワクチンを接種。その都度、動線をシミュレーションし、受付・誘導・問診・見守りなどの役割を多職種協働で分担しました。その経験を生かし、今回もスムーズに進行中。職員への接種が完了したら、看護学校に通う学生や委託職員への接種も予定しています。

地域のみなさんに安心して来院いただけますように、これからも、

## 済生会はSDGsそのもの

### 新潟病院

（済生記者 川原彩花）

ワクチン接種も日頃の感染対策も徹底していくきます。



演会を1月19日に開催しました。コロナ対策で、会場参加者は約60人に限定。その他の職員は、部署単位・個人単位でのリアルタイム視聴と、録画視聴に分散しました。



テーマは「済生会の理念とSDGs～新型コロナによる転換期での済生会の進む方向

講演で再認識したのは「済生会の取り組み自体がSDGsであること。近年、SDGsが声高に言われる中で、済生会は、成り立ちからその理念に合致した活動を続けています。「済生会は社会にとって必要な組織である」——その素晴らしさに改めて気づき誇りに思いました。

講演後の質疑で、理念とSDGsの実現に対する炭谷理事長の熱い思いや、行動の原動力について伺うことができ、職員一同大いに刺激を受けました。

（生活困窮者福祉医療支援委員会事務局 渡川健史）



的な学習の時間に制作したビデオメッセージとお手紙をいただきました。感染の恐れがある中で働く大変さへの理解や、健康を守つてくれてありがとうございます。感謝の思いが詰まったメッセージでした。「ふるさと」の合唱動画もあり、感謝の気持ちを伝えるため一生懸命練習した様子が見えました。

かわいい飾りつけのされた手紙には「体に気をつけて頑張ってください」と綴られ、職員一



## コロナ重症者対応学ぶ

医療従事者養成研修事業「人工呼吸講習会」（主催：栃木県・ECMOne）を12月11日に当院で開催しました。新型コロナ重症例に対応する人工呼吸管理可能な人材育成が目的で、今年度2回目の実施です。当院救命救急センターの小

山形市立第九小学校の6年生120人から12月9日、総合

山形済生病院

同とてもうれしかったです。ビデオメッセージは全職員に配信。手紙も職員が行き交う廊下に掲示し、毎日にして元気をもらっています。

（済生記者 柏倉汐里）

### 宇都宮病院

（栃木）宇都宮病院

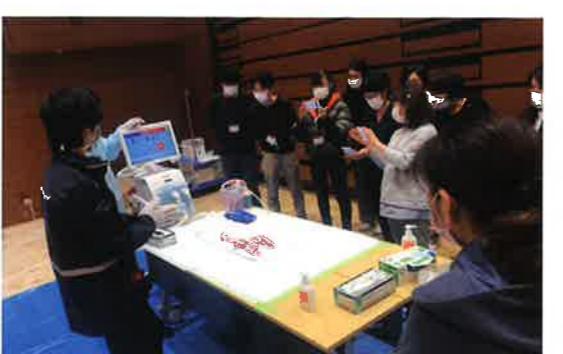
倉崇以セントラル長・萩原祥弘副センター長・救急・集中治療科の井上聰医師・山田宗医師・佐藤弘樹医師、土川将生臨床工学技士が講師を担当。県内の医師・看護師・臨床工学技士など39人が参加しました。

講義の後、午後は肺保護喚起法などをグループごとに実習。コロナ重症患者の入院は多職種で対応する必要があり、参加したどの職種にとつても有意義な講習会でした。

当院では、今後も定期的に人工呼吸やECMOに関する講習会を開催予定です。

（地域連携課 秋山綾香）

## 宇都宮病院



## 心臓・呼吸器リハビリや高精度放射線治療が可能に

宇都宮病院ではリニアック室とリハビリテーションセンターの増改築工事を行ない、12月末から運用を開始。放射線治療装置「TrueBeam」を新たに導入しました。

高エネルギー放射線を出すガントリに加え、X線検査に用いるX線管と検出器も搭載。従来より画像が見やすく、細か



## 奈良マラソンで救護班

〈奈良〉訪問看護ステーション野の花

2年ぶりに開催された12月12日の奈良マラソンに、野の花から2人の看護師が、奈良病院からは看護師4人・理学療法士2人が救護班として参加しました。



ランナーが9時にスタート。ゴールまでの制限時間は6時間です。その間、医師・看護師・理学療法士・救急隊など総勢約90人の救護班がランナーを支えます。各部門付近に設置された救護所担当のAED隊に分かれ緊急事態に備えました。が大会は無事終了。医療スタッフから歓喜と安堵の声が上がりました。

（所長 丸山節子）



## 目指せボッチャで金メダル

〈愛媛〉西条老健いしづち苑

長さんと感心する見事な出来栄えでした。最後に、この春卒園する4人が「おわりのことば」を堂々と発表して終幕。

コロナ禍のため無観客開催でしたが、広報室はビデオでしっかり録画しました。後日、インターネット等で配信し、保護者に見ていただく予定です。

（済生記者 松尾覚志）



当苑では「未来のボッチャ選手」を目指す入居者さん・スタッフが一体となって、ボッチャ競技に取り組んでいます。

昨年の東京パラリンピックでは、流行語にも選ばれた「スギムライジング」

の杉村英孝選手が、ボッチャ競技で日本人初の金メダルを獲得。列島は大いに沸きました。

その翌朝のいしづち苑では、みなさんからたくさんの歓喜のコメントが聞かれました。その様子を見たスタッフは「いくつになつても、新しいことに挑戦

（愛媛）今治病院

## 「もしバナカード」で実感最期の選択を考える研修

看護部は12月1日、「もしバナカード」を使ったACP研修を開催しました。



（済生記者 越智美華）

や死の間際に「どのようにケアしてほしいか」「誰にそばにいてほしいか」、そして「自分にとって何が大事か」を記入。参加者は、自分が最期に大切にしたい内容のカードを選び、選択理由をグループメンバーに説明。残される幼子に思いをはせ、涙するグレープもありました。

最後に緩和ケア認定看護師が「もしもの備えとして、自分の思いを人に伝えることがいかに大切なか、それを選択することがいかに難しいのかを実感したと思う。どのような決断に至つても、患者さんやご家族が決めたことを尊重して支援していきましょう」と話しました。

院内保育所なでしこキッズクラブの子どもたち23人は1月14日、当院講堂でお楽しみ会を開きました。

年中さんの「はじめのことば」に続き、園児全員の楽器演奏「山の音樂家」、お遊戯「Baby shark dance」「鬼滅の刃」を元気いっぱいに披露してくれました。

次は年長さんのハンドベル演奏「聖者の行進」。さすがは年



超。家族と一緒に見た職員もいました。

今年はいつもの忘年会がしたいと思う一方、家庭の事情などで参加できない職員もいるので、オンライン併用のハイブリッド忘年会も面白いかも!?

（済生記者 松尾覚志）

## 小樽病院 つむぎの会さんありがとうございます

ボランティア団体つむぎの会から12月23日、タオル帽子50枚が寄贈されました。

毎年、抗がん剤治療などで髪が抜け落ちた人向けて、柔らかく肌触りのよいタオル帽子を作成、市内の医療機関に寄付しているつむぎの会。当院にも3年連続で届けていただきました。

フェイスタオル一枚を使ったタオル帽子は、吸水性に優れ、通気性や肌触りもよく、誰でも使えるよう幅広いサイズと豊富な柄が用意されています。同会の木村雪子代表から直接受け取った当院・石渡明子緩和ケア認定看護師は「タオル帽子はデザイン性だけでなく機能性も素晴らしい、入院患者さんにも通院患者さんにも喜ばれています。

受取った当院・石渡明子緩和ケア認定看護師は「タオル帽子はデザイン性だけでなく機能性も素晴らしい、入院患者さんにも通院患者さんにも喜ばれています。

ラブの子どもたち23人は1月14日、当院講堂でお楽しみ会を開きました。

年中さんの「はじめのことば」に続き、園児全員の楽器演奏「山の音樂家」、お遊戯「Baby shark dance」「鬼滅の刃」を元気いっぱいに披露してくれました。

次は年長さんのハンドベル演奏「聖者の行進」。さすがは年

## 小樽病院 23人のお楽しみ会

ラブの子どもたち23人は1月14日、当院講堂でお楽しみ会を開きました。

年中さんの「はじめのことば」に続き、園児全員の楽器演奏「山の音樂家」、お遊戯「Baby shark dance」「鬼滅の刃」を元気いっぱいに披露してくれました。

次は年長さんのハンドベル演奏「聖者の行進」。さすがは年

## 〈北海道〉小樽病院 オンラインでも大盛況

忘年会を前回同様Zoomで、12月17日に実施しました。職員は、各自が希望した弁当や菓子を受け取って帰宅。PCやスマホで忘年会に参加しました。

和田卓郎病院長が「みなさん頑張りで、今年も一年無事に終えることができた」と、お礼と労いの言葉を伝えてスタート。続いて病院長賞、ロゴ・キャラコンテストの結果が発表され、参加総数はなんと180人。

（済生記者 松尾覚志）

今年はいつもの忘年会がしたいと思う一方、家庭の事情などで参加できない職員もいるので、オンライン併用のハイブリッド忘年会も面白いかも!?

（済生記者 松尾覚志）

（済生記者 松尾覚志）

**(福井) 老健ケアホーム  
さいせい**

ケアホーム・さいせいの新春は、スタッフみんなで企画・制作した「神社とおみくじ」「福笑い」「獅子頭」などでにぎやかに始まりました。

利用者さんの間を獅子舞が華麗に舞い、健康とご多幸を祈つて頭を「ガブリ!」。平気な顔の人、笑顔の人、少し怖がる人などいろんな表情が見られました。

福笑いでも神社のおみくじでも、結果に苦笑したり納得の笑顔が見られたりと、一喜一憂する利用者さん。その様子に、アイデアを出し合い準備したスタッフの苦労が報われました。

コロナ禍でも、こうして無事に新年を迎えたことをまずは喜びたいと思います。職員一同「今年はよい年になりますよう」と祈るばかりです。

(済生記者 吉野直美)



## topics



### ペツタンペツタンお餅つき

北海道済生会

女性になりきったスタッフが、利用者さん一人ひとりをお祓いし記念撮影します。巫女さんが持つ大幣（お祓いの道具）に興味を示す利用者さんもいました。感染予防のため当施設も面会や外泊には制限がある中で「一日でも早く以前の生活に戻れますように」と、コロナの収束を祈りました。

（保育士 中澤南美）

子どもにとつて杵は重くて、一人で持つのは大変。でも、職員の手を借りて一生懸命ペツタンペツタンお餅をつきました。出来立てのお餅は鏡餅にして、お隣の地域ケアセンターにもおすそわけ。年明けとともにやがてくる年神様にお供えし、一年の良運を願うためです。

残りは一口サイズに丸めてみんなで一緒に食べました。つまんないで一緒に食べました。つまんで、あつという間に完食！

来年はもっと成長して、一人でお餅がつける大きな体になれるかな？ 私たちは、心も一緒に成長できるよう、見守り支援していきます。

（支部事務局 清水雅成）

### 獅子舞こわい

保育園

園児や保護者、みんなの幸福を願い、年始に開園後初めて玄関飾りを設えました。

1月11日には、新年のつどいを開催。保育士全員でつくった獅子舞・だるま・大型かるた・コマ・福笑いなどの伝承遊びを



### 岡山済生会外来センター病院 楽しいお正月会

コロナ対策で合同開催にしていたお正月会を、今年は地域包括ケア病棟単位で開きました。

1月5日は、はなみずき病棟。お正月の音楽を流し、テーブルを囲んで、カルタ取りと福笑いをしました。完成した福笑いを見て大笑いしたり、童心に帰り活気あふれた時間でした。

7日はさくら病棟。ここでは絵馬作りをしました。「元気に過ごせますように」「病気がよくなりますように」と、真剣なまなざしで絵馬に願いを込める患者さん。福笑いや書き初めも楽しみました。

### よいしょ！と餅つき

（山形）特養やまのべ荘

餅つきと鏡餅づくりを12月27日に多目的ホールで催し、利用者さん35人が参加しました。

「よいしょ！」の元気な掛け声に合わせて楽しく餅をつきました。恥ずかしがつて遠慮する人も、いざ自分の順番が来ると顔つきが変わって「それっ！」と



### やつと出番だ、餅つき会

（山形）特養愛日荘

「獅子舞こわい」と泣いてしまった子もいましたが、現代の家庭ではなかなか経験できないことも知つてもらうよい機会になりました。

（保育施設事務 福田 郁）

家族会から寄贈された白と杵



### （栃木）うつのみやなでしこ

保育園

園児や保護者、みんなの幸福を願い、年始に開園後初めて玄関飾りを設えました。

1月11日には、新年のつどいを開催。保育士全員でつくった獅子舞・だるま・大型かるた・コマ・福笑いなどの伝承遊びを







## 笑顔でハッピークリスマス

（愛媛）今治病院

12月24日にクリスマス会を開きました。

三好明文医師がサンタに、看護師がトナカイに扮し、患者さんにクリスマスケーキとカードとプレゼントは緩和ケア病棟の看護師が手作りしたものでした。



このころは新型コロナの感染状況が落ち込んでいたので、ご家族もご招待。奥さん・娘さん・お孫さんに囲まれて、うれしそうな患者さん。笑顔いっぱいのハッピークリスマスで、私たちもすてきな時間を過ごしました。年が明け、新型コロナの感染者数がまた増加していますが、今年もクリスマスはご家族と一緒に楽しめることを願つ

ています。

（済生記者 越智美華）

## 大小二つのプレゼント

（三重）松阪総合病院

院内保育園たんぱくで12月24日にクリスマス会を開催しました。



園児が楽しんでいると、突然サンタが登場。怖がる子、喜ぶ子など反応はさまざまでしたが、最後に、園児が松ぼっくりとドングリで作ったクリスマスツリーをサンタさんにプレゼントして記念撮影しました。

（総務課 家城瑠里）

## 福井 老健ケアホーム・さいせい

（福井）老健ケアホーム・さいせい

コロナ禍で行事が少ない中、利用者さんに少しでも楽しみみをと、12月22日にクリスマス会を行いました。



つ大きな袋を持っています。なんと、みんなで遊べる屋内用の鉄棒が出てきました！ うれしい二つのプレゼントのうちで作ったクリスマスツリーをサンタさんにプレゼントして記念撮影しました。

（済生記者 吉野直美）

## センターの糸を深める

（神奈川）若草病院

隣接するわかくさ保育園が12月23・24日に開いたスマイルクリスマス会に、当院スタッフの働く姿を写した写真などを展示してもらいました。

保育園のお誘いで実現した

月23・24日に開いたスマイルクリスマス会に、当院スタッフの働く姿を写した写真などを展示してもらいました。

このほか12月23日にも地域包

括ケア病棟で、看護師によるハンドベルと津軽三味線の演奏会

を実施。「ジングルベル」など

このほか12月23日にも地域包

括ケア病棟で、看護師によるハ

ンドベルと津軽三味線の演奏会

を実施。「ジングルベル」など

このほか12月23日にも地域包

括ケア病棟で、看護師によるハ

ンドベルと津軽三味線の演奏会

を実施。「ジングルベル」など

このほか12月23日にも地域包

括ケア病棟で、看護師によるハ

ンドベルと津軽三味線の演奏会

を実施。「ジングルベル」など

このほか12月23日にも地域包

括ケア病棟で、看護師によるハ

ンドベルと津軽三味線の演奏会

を実施。「ジングルベル」など



用意し、職員が調理にとりかかるとおいしそうな匂いが漂い、

文字通り、多くのスマイルがつながったすてきなクリスマス会でした。

（横浜金沢医療福祉センター）

事務局 高木裕子）

24日に行ないました。

## 16回目のプレゼント

（大阪）中津特養喜久寿苑

大阪東淀ちややまちロータリークラブから12月20日、今年で16回目となるクリスマスプレゼントをいただきました。

例年は、入居者さん・ご家族が参加するクリスマス会に、サンタ姿のクラブメンバーが訪れていましたが、コロナ禍で昨年度からは、クリスマス会の開催を自粛。その中でクラブ側から申し出があり、今回は特別に同

## 忘年会＆クリスマス会

（山形）特養愛田荘

忘年会＆クリスマス会を12月24日に行ないました。

昼食は鍋料理。具材や土鍋を

用意し、職員が調理にとりかかるとおいしそうな匂いが漂い、

職員の音楽バンド「K's Music Club（ケーズミュージッククラブ）」が毎年恒例のクリスマス演奏会を、12月22日に緩和ケア病棟で、24日には回復期リハビリテーション病棟で開催しました。

ハンドベルで「さよよしこの夜」を演奏した後、ユーフォニアム・ピアノ・トロンボーン・アルトサックス・フルート・カホンで



（福岡）飯塚嘉穂病院

## 演奏のプレゼント

（福岡）飯塚嘉穂病院

例年は、入居者さん・ご家族

が参加するクリスマス会に、サンタ姿のクラブメンバーが訪れていましたが、コロナ禍で昨年度からは、クリスマス会の開催を自粛。その中でクラブ側から申し出があり、今回は特別に同

# topics

〈山形〉養護（盲）老人ホーム  
山静寿

## 心もお腹も大満足

忘年会を12月23日の夕食時間帯に食堂で開きました。昨年度はコロナ禍で内容を大幅に縮小しましたが、本年度は状況がある程度落ち着いていたため、以前同様の内容で行なえました。

齊藤英敏副施設長が乾杯のあいさつをしてスタート。江戸前うなぎ天ぷら、茶わん蒸しと豪華メニューやがずらり。ノンアルコールビールやジュースを飲みながら、笑顔で会話し親睦を深める入所者さん。俳句やハーモニカ演奏、カラオケなども披露し、大いに盛り上りました。

「久しぶりに忘年会ができたよかったです」「お腹いっぱい食べた」「にぎやかで楽しかった」「お腹いっぱい食べた」



（済生記者 丹 秀樹）

## 医療機能評価機構に協力受審動画がWeb配信中

神奈川県病院は、日本医療機

と入所者さん。心もお腹も大満足の忘年会でした。



（山口）豊浦病院  
第32回山口県OT学会

オンライン形式で11月28日に開催された「第32回山口県作業

能評価機構の要請でケアプロセス調査風景の動画撮影に協力、その動画が11月17日からWeb配信されています。

きっかけは、同機構から「貴院の取り組みをモデル病院とし

ました。この動画は、「病院機能改善セミナー」「ケアプロセス調査③地域包括ケア病棟の症例」としてWeb配信されています。

（済生記者 杉山 正）

療法学会」で、筆者は学会長を務めました。

今回のテーマは「知行合一」。

最新知識と実践をもとに「作業の魅力・作業の力」を再確認する学会です。基調講演に西田征治・県立広島大学教授を招き、筆者も事例発表しました。

初めてオンライン会議を運営し、事前準備に苦労しましたが、

学会長としての重責を担いつつ、新規企画に挑戦、達成に向けた創意工夫を重ねながら、スタッフをマネジメントするコツなど、貴重な学びを得ました。この経験を今後の大きな糧とします。

（リハビリテーション科

副技士長 齊藤隆一）

関係部署の職員とともに問題意識を持って現状確認することは、医療安全対策担当者が、

11月21～27日の医療安全推進週間に、医療安全管理室室長と医療安全対策委員が院内ラウンジを実施しました。安全管理意識の向上と安全な医療提供体制づくりが目的です。

多職種がラウンドすること

で、現場の問題を多角的にキャ

ップ。医療安全対策担当者が、

ラウンドの成果として、消防栓の前に物を置かない注意喚起、誤薬防止につなげる掲示物貼付を実施。売店でも、売れ筋商品のおむつが、思わぬ転落・衝突事故を起こしやすい高所に陳列されていましたため、取りやすい場所に移動する安全対策を講じました。

（医療安全管理室

リスクマネジャー 丸山千恵乃）



## がん患者を食で支える 栄養科考案の「さわやか食」

済生会の職員が寄稿した記事が掲載された雑誌等を紹介します

盛り付けも工夫したメニューを紹介している。

岡山済生会総合病院 栄養科

岡山済生会総合病院の「さわやか食」が「ヘルスケア・レストラン」2022年1月号（日本医療企画）に掲載された。

食欲不振や味覚障害などの副作用を抱えながらがんと闘う患者を支える当院栄養科のフードサービス。多職種連携で、がん患者の栄養ケアと食べる意欲を引き出すため、食器や



## ポイントは「全スタッフ参加」 医療安全症例検討会で意見交換

（済生記者 高畠貴子）

エビ・錦糸卵など10種類の具材を使用した岡山の郷土料理「ばら寿司」の写真は必見。栄養科のチーム力が誌面からも強く伝わってくる。患者ファーストの「さわやか食」の新メニュー開発は続く。

（済生記者 高畠貴子）

隔月刊誌「病院安全教育」2022年12月・2023年1月号（日総研）の特集「事故の事例やデータを職員教育に活用しよう」に、医療安

全管理室の磯邊みどり師長が寄稿。

（済生記者 高畠貴子）



院内外で起る事故やインシデントの情報・事例、職員教育に活用している方法や成果をまとめている。

磯邊師長は、「これまで医療安全管理室からの一方的な情報発信で、医療安全研修も参加者に偏りがあった」と振り返り、「院内で増えている事例や他部署でも発生する可能性がある事例等を教材に採用。全スタッ

トで現場にフィードバック。どう対応

していいか分からなかつたスタッフ

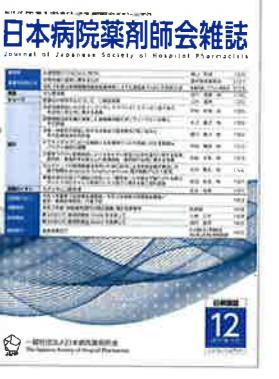
にとつては、行動につながる情報共

有の場となつていて」と解説。

フ参加の医療安全症例検討会で意見交換を行ない、「医療安全ニュース」で現場にフィードバック。どう対応していいか分からなかつたスタッフにとつては、行動につながる情報共

有の場となつていて」と解説。

(済生記者 山田大貴)



「これまで医療安全管理室からの一方的な情報発信で、医療安全研修も参加者に偏りがあった」と振り返り、「院内で増えている事例や他部署でも発生する可能性がある事例等を教材に採用。全スタッ

トで現場にフィードバック。どう対応していいか分からなかつたスタッフにとつては、行動につながる情報共

有の場となつていて」と解説。

(済生記者 山田大貴)



「これまで医療安全管理室からの一方的な情報発信で、医療安全研修も参加者に偏りがあった」と振り返り、「院内で増えている事例や他部署でも発生する可能性がある事例等を教材に採用。全スタッ

トで現場にフィードバック。どう対応していいか分からなかつたスタッフにとつては、行動につながる情報共

(済生記者 山田大貴)



## 大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。

### 新矢さん、あと6年どうしよう

たかね荘こやうらでは、かわいい干支の手づくり人形がたくさん飾られるのが、年始の恒例の風景です。利用者さんもご家族も、職員もみんな愈やされています。

この人形を作つてくれるのは、食事の配膳・洗濯などを担当している新矢澄子さん。初めて作つたのは酉年人形で、今年の寅年人形で6年目です。

一つ作るのに数日かかり、年末の忙しい時間の合間を縫つて作業する

と笑顔で答えてくれました。そんな新矢さんが今年3月で定年退職となります。あと6年で干支が一巡してすべてそろうはずでしたが……なんとか12種類の干支人形をコンプリートしたいと、新矢さんと思案中です!

(広島・たかね荘こやうら 事務員 坂本洋司)

★残るは卯・辰・巳・午・丑・申。新矢さん、全部並んだ姿を私も見たのです!

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

自院に合った内容に仕立てる強化策を次々に打ち出している。また、調剤とみなす仕組みだ。令和2年6月から運用し、いわゆる別物調剤は、減数調剤の適用拡大、院外処方箋への疑義照会簡素化と検査値記載、連携の会の創設など、先行事例

起こっているのかリアルタイムで配信し、現場スタッフの声を確認する双方向の情報伝達・共有を行なつていただきたい」としている。

(済生記者 山田大貴)

このかわいいくまモンの包み紙の中身は——済生会熊本福祉センターで作られたクッキーセット!もちろん味は保証つきで、職員に大好評。私もあつという間に食べ切つてしましました。

(熊本・みすみ病院 済生記者 舩橋麻紀)

★かわいい・おいしい・うれしいプレゼントで、また1年間頑張れそうですね!

(メディカル・リーフ 平山里奈)



ました。私たち、いつも前向きで一生懸命なその姿から、生き方について学んでいます。

寅年は、成長や始まりの年と言われます。コロナが終息し「新しい日常が始まる」そんな年になつてしまいものです。私たちも、始まりの年にふさわしく「初心忘れるべからず」の気持ちを胸に、利用者さんに「野の花に来てもらつてよかつた」と言つてもらえるよう、専門性に磨きをかけ成長を続けていきます。よりよい看護とりハビリテーションの提供で、今年も病院理念「心ある医療」の実践に努めます。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(奈良・訪問看護ステーション野の花

所長 丸山節子)

今年もおいしくなあれ

## 次号予告

# 済生

No.1113 [令和4年3月号]

済生会の不易流行論 (163)  
NEWSな済生人  
この人  
済生会交差点  
口福にっぽん (54)  
てづくりおもちゃ

## 広告索引

三井住友銀行  
——表紙見返し [表紙2]  
(株)メディクプランニングオフィス  
——表紙見返し [表紙3]  
アクサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)  
——裏表紙 [表紙4]

今年もおいしくなあれ

当地・陸前高田には、老舗の蔵元さんと農家さんがコラボし、小学生が社会勉強の一貫で参加してつく

る、こだわりの地酒があります。

「多賀多」という数量限定の貴重なお酒。原料米は、酒粕・醤油粕を混ぜた土作りと減農薬・無化学肥料に

11年前の大震災の被害を乗り越えて描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

今では、車椅子で外出できるまで回復。これまでに一枚ずつ心を込め描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

## 絵手紙に年始の誓い

新春に届いた絵手紙年賀状の主は、1995年に難病の多発性硬化症と診断され、在宅療養している患者さん。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

今年もおいしくなあれ

## 次号予告

# 済生

No.1113 [令和4年3月号]

済生会の不易流行論 (163)  
NEWSな済生人  
この人  
済生会交差点  
口福にっぽん (54)  
てづくりおもちゃ

## 広告索引

三井住友銀行  
——表紙見返し [表紙2]  
(株)メディクプランニングオフィス  
——表紙見返し [表紙3]  
アクサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)  
——裏表紙 [表紙4]

今年もおいしくなれ

当地・陸前高田には、老舗の蔵元さんと農家さんがコラボし、小学生が社会勉強の一貫で参加してつく

る、こだわりの地酒があります。

「多賀多」という数量限定の貴重なお酒。原料米は、酒粕・醤油粕を混

ぜた土作りと減農薬・無化学肥料に

11年前の大震災の被害を乗り越えて描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

今では、車椅子で外出できるまで回復。これまでに一枚ずつ心を込め描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

## 絵手紙に年始の誓い

新春に届いた絵手紙年賀状の主は、1995年に難病の多発性硬化症と診断され、在宅療養している患者さん。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

今年もおいしくなれ

## 次号予告

# 済生

No.1113 [令和4年3月号]

済生会の不易流行論 (163)  
NEWSな済生人  
この人  
済生会交差点  
口福にっぽん (54)  
てづくりおもちゃ

## 広告索引

三井住友銀行  
——表紙見返し [表紙2]  
(株)メディクプランニングオフィス  
——表紙見返し [表紙3]  
アクサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)  
——裏表紙 [表紙4]

今年もおいしくなれ

当地・陸前高田には、老舗の蔵元さんと農家さんがコラボし、小学生が社会勉強の一貫で参加してつく

る、こだわりの地酒があります。

「多賀多」という数量限定の貴重なお酒。原料米は、酒粕・醤油粕を混

ぜた土作りと減農薬・無化学肥料に

11年前の大震災の被害を乗り越えて描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

今では、車椅子で外出できるまで回復。これまでに一枚ずつ心を込め描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

## 絵手紙に年始の誓い

新春に届いた絵手紙年賀状の主は、1995年に難病の多発性硬化症と診断され、在宅療養している患者さん。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

今年もおいしくなれ

## 次号予告

# 済生

No.1113 [令和4年3月号]

済生会の不易流行論 (163)  
NEWSな済生人  
この人  
済生会交差点  
口福にっぽん (54)  
てづくりおもちゃ

## 広告索引

三井住友銀行  
——表紙見返し [表紙2]  
(株)メディクプランニングオフィス  
——表紙見返し [表紙3]  
アクサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)  
——裏表紙 [表紙4]

今年もおいしくなれ

当地・陸前高田には、老舗の蔵元さんと農家さんがコラボし、小学生が社会勉強の一貫で参加してつく

る、こだわりの地酒があります。

「多賀多」という数量限定の貴重なお酒。原料米は、酒粕・醤油粕を混

ぜた土作りと減農薬・無化学肥料に

11年前の大震災の被害を乗り越えて描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

今では、車椅子で外出できるまで回復。これまでに一枚ずつ心を込め描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

## 絵手紙に年始の誓い

新春に届いた絵手紙年賀状の主は、1995年に難病の多発性硬化症と診断され、在宅療養している患者さん。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

今年もおいしくなれ

## 次号予告

# 済生

No.1113 [令和4年3月号]

済生会の不易流行論 (163)  
NEWSな済生人  
この人  
済生会交差点  
口福にっぽん (54)  
てづくりおもちゃ

## 広告索引

三井住友銀行  
——表紙見返し [表紙2]  
(株)メディクプランニングオフィス  
——表紙見返し [表紙3]  
アクサ生命保険(株)  
富国生命保険(相)  
日本生命保険(相)  
第一生命保険(株)  
大樹生命保険(株)  
明治安田生命保険(相)  
——裏表紙 [表紙4]

今年もおいしくなれ

当地・陸前高田には、老舗の蔵元さんと農家さんがコラボし、小学生が社会勉強の一貫で参加してつく

る、こだわりの地酒があります。

「多賀多」という数量限定の貴重なお酒。原料米は、酒粕・醤油粕を混

ぜた土作りと減農薬・無化学肥料に

11年前の大震災の被害を乗り越えて描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

今では、車椅子で外出できるまで回復。これまでに一枚ずつ心を込め描いてくれた絵手紙は20枚を超えた。

## 絵手紙に年始の誓い

新春に届いた絵手紙年賀状の主は、1995年に難病の多発性硬化症と診断され、在宅療養している患者さん。

生きがいと療養生活を互いに支え合う関係がすてきです。

(メディカル・リーフ 後藤藍子)

こんな時だから、安価な保険料で安心を。

# メディカル感染症ほけん

年間  
保険料1,030円  
1ヶ月あたり 約86円

「メディカル感染症ほけん」は、医療・福祉関連施設で働く皆さまが感染症にかかった場合に、各種見舞金をお支払いする保険です。  
医療・福祉関連施設に勤務する全てのスタッフの皆さんにご契約いただけます。

こんな時に安心です!

[お支払い例]



PCR検査を受けたところ、翌日

新型コロナウイルス感染症と診断確定され入院を指示された。

- 通院(検査日) 1日間 10,000円
- 入院 10日間 30,000円

お見舞金合計 40,000円

[お支払い例]

嘔吐・腹痛のため病院を受診。ノロウイルスと診断された。

- 通院・待機日数 6日間

お見舞金 20,000円

[お支払い例]

発熱のため病院を受診したら、インフルエンザと診断された。



- 通院・待機日数 5日間

お見舞金 10,000円

## ■補償内容

被保険者(補償を受ける方)が国内で、責任開始日以降かつ保険期間中に対象となる感染症を発病し、その直接の結果として、発病日からその日を含めて180日以内に死亡した場合に死亡保険金を、入院、通院・自宅待機をした場合に見舞金をお支払いたします。

## ■補償金額

死亡保険金額	100万円
入院見舞金額	
入院日数31日以上	10万円
入院日数15日~30日	5万円
入院日数8日~14日	3万円
入院日数4日~7日	2万円
入院日数3日以内	1万円

通院・待機期間見舞金額	
通院・待機日数30日以上	10万円
通院・待機日数16日~29日	5万円
通院・待機日数11日~15日	3万円
通院・待機日数6日~10日	2万円
通院・待機日数5日以内	1万円

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、流行性角結膜炎、マイコプラズマ肺炎、結核、MRSA、百日咳など  
**118種類の感染症が補償の対象**

※上記のお支払い例は、引受保険会社が作成した想定事故例であり、過去に実際に発生したものではありません。

## インターネットでカンタンお申込み



スマートフォンやタブレット等からお申込みいただけます。

<https://medical-ssi.force.com/apply?productid=13&agentid=M001>

## !ご注意!

既にメディカル少額短期保険(株)の他の保険をご契約いただいている方は、この保険にお申込みいただけませんので、ご了承ください。

## お問い合わせ

引受保険会社 メディカル少額短期保険株式会社 〒104-0033 東京都中央区新川12-22-2 新川佐野ビル4F TEL:0120-900358(9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始休日を除く)  
取扱代理店 株式会社メディックプランニングオフィス 〒104-0033 東京都中央区新川12-22-6 SJビル2F TEL:0120-891899(9:00~17:00 土・日・祝日除く)

※この広告は「メディカル感染症ほけん」の概要について紹介したもので、保険の内容は上記よりWEBサイトでご確認いただき、パンフレットをご請求いただきご確認ください。お申込みにあたっては「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合は、上記フリーダイヤルまで問い合わせください。※お預かりしたお客様の情報は、ご依頼のあったパンフレット・申込書類の郵送以外に利用することはありません。なお、お申込みにあたっての個人情報のお取り扱いについては、重要事項説明書をご覧ください。

★地域のみなさんが力を合わせ、地元産にこだわってつくった純米酒  
ああいますぐ飲みたい!  
(メディカル・リーフ 原澤一也)

は3月ごろに発売予定。どんな味の  
お酒に仕上がるのでしょうか。  
(岩手・陸前高田診療所)  
済生記者 三尾恭子



## 絵馬に願いを込めて

健康福祉ゾーン 済生会ビルラッジでは、新春の願掛け絵馬を用意しました!  
絵馬は、何かを祈願するときや、願いがかなつたお礼として、神社に



★私の今年の願いは「コロナ終息」です! 今年こそ叶いますように。  
(北海道済生会 清水雅成)

この絵馬は小樽市内の神社に奉納させていただきます。読者のみなさんの今年の願い事はなんでしょうか。  
皆さんのさまざまな願いが寄せられました。

奉納するもの。合格祈願・無病息災・一攫千金・千客万来・社内安全……

この絵馬は小樽市内の神社に奉納させていただきます。読者のみなさに今年の願い事はなんでしょうか。  
皆さんのさまざまな願いが寄せられました。



済生会

11日、明治天皇  
は、時の総理大臣桂太郎を召され  
て「恵まれない人々のために施薬  
による済生の道を広めるよう

に」との済生勅語に添えてお手元金  
150万円を下賜された。桂總理は  
この御下賜金を基金として全国の官  
民から寄付金を募つて同年5月30日  
以来今日まで110年、社会経済  
情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗  
り越えるなど幾多の変遷を経ながら  
も、本会は「施薬救療」という創立  
の精神を引き継いで保健・医療・福  
祉の充実・発展に必要な諸事業に取  
り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の  
指定、同27年に社会福祉法人の認可  
を受け、現在、社会福祉法人恩賜済  
生会となっている。

合計	399	(数字は令和2年度)
職員数	は全国で約6万4000人。	
戸内海の53島の診療活動に携わつて いる。		
訪問看護ステーション	7	
地域包括支援センター	9	
看護師養成施設	1	
障害者福祉施設	25	
児童福祉施設	1	
介護老人保健施設	22	
病院	81	
診療所	18	
本部	東京	
理事長	炭谷茂	
総裁	秋篠宮皇嗣殿下	
本部	東京	
支部	40都道府県	

## 済生

[令和4年2月号]  
THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saisikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和4年2月10日発行

通巻第1112号(第98巻第2号)

編集兼  
発行人

炭谷 茂

発行所 社会福祉法人恩賜済生会

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL: 03-3454-3311(代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

©社会福祉法人恩賜済生会

# 済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、  
個人保険に比べて  
割安な保険料で  
大きな死亡保障を!!

## グループ保険

[災害割増特約・こども特約、  
こども災害割増特約付福祉団体定期保険]

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)  
手続きが簡単なうえ、  
剰余金があれば  
契約者配当金が戻ります。



## ①終身医療保障プラン

[手術給付特約・手術補完給付特約・  
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担  
保特約(入院保障保険(終身型09)用)付  
入院保障保険(終身型09)(60日型)]

## ②医療保障プラン

[高度先進医療給付特約・特定疾患給付  
特約付医療給付金付個人定期保険]

## ③総合医療あんしんプラン

[総合医療保険(団体型)]

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、  
選択できます。



第二の人生を  
充実させるために  
今からご準備を!!

## ゆうゆうライフプラン

[拠出型企業年金保険、  
医療給付金付個人定期保険]

(本人のみ対象)



**令和4年度 済生会グループ保険は、  
令和4年1月1日保障開始となります。**

**(保険料は令和3年12月の給与からの控除開始です。)**



\*このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社]

**アクサ生命保険株式会社** [事務幹事会社]

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社  
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社  
明治安田生命保険相互会社

[医療保険引受保険会社]

**アクサ生命保険株式会社** (終身医療保障プラン・医療保障プラン)

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

**日本生命保険相互会社** (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター

電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取扱いしておりません)】

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プラン取扱店]

**アクサ生命保険株式会社 制度推進部**

[照会先]法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7450

[総合医療あんしんプラン担当営業部]

**日本生命保険相互会社 公務第一部**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(8.0) AXA-A1-1903-0342/9F7 2019.07.31(2020.12更新)